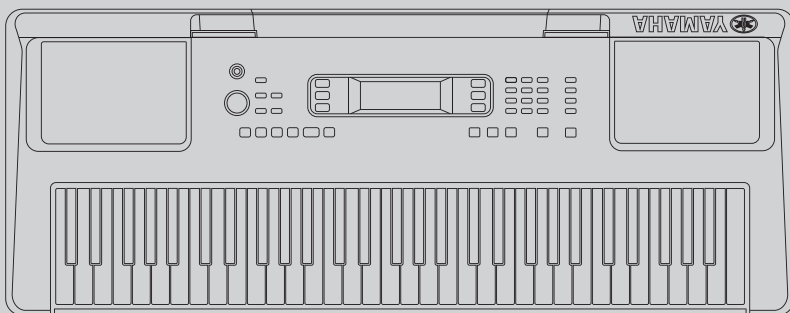


電子キーボード

取扱説明書

PORTATONE

PSR-E373



ご使用前に必ず4～8ページの「安全上のご注意」をお読みください。

保証書付

裏表紙にあります



取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

■冊子マニュアル



取扱説明書(本書)

- ・準備：最初にお読みください。
- ・本編：この楽器の機能や使い方を説明しています。
- ・資料：仕様や楽器リストなどの資料を掲載しています。

■電子マニュアル(PDF形式)



ドラムキットリスト

ドラムキットリストボイス(楽器番号242～263、60ページ)を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器音や効果音などの一覧です。



MIDIリファレンス

この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。



コンピューターとつなぐ

この楽器とコンピューターを接続する方法や、MIDIデータを送受信する方法などを説明しています。



スマートデバイス接続マニュアル

この楽器をスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと接続する方法を説明しています。

上記のマニュアルは、ヤマハの下記ウェブサイトの「取扱説明書」のページからご覧いただけます。

* 「MIDI入門」と入力すると、MIDIの基礎知識を説明した資料をPDFで入手できます。

サポート・お問い合わせ <https://jp.yamaha.com/support/>

付属品(お確かめください)

- ・取扱説明書(本書) × 1
- ・譜面立て × 1
- ・製品登録のご案内 × 1
- ・ソングブック × 1
- ・電源アダプター × 1

対応フォーマットと機能



GMシステムレベル1

メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音色配列やMIDI機能に関する音源フォーマットです。



XGライト

ヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGlite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。



スタイルファイルフォーマット(SFF)

「スタイルファイルフォーマット(SFF)」とは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した、伴奏スタイルに関するフォーマットです。



USB

コンピューターと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。



タッチレスポンス

弾く強さに応じて鍵盤の演奏音に強弱が付けられる機能です。

このたびは、ヤマハ電子キーボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この楽器は、豊富な音色や内蔵曲などを搭載した、鍵盤楽器が初めての方でも気軽に楽しめる電子キーボードです。
この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

もくじ

取扱説明書について.....	2	各パートをオン/オフする.....	33
付属品(お確かめください).....	2	コンピューターからソングを転送して鳴らす.....	33
対応フォーマットと機能.....	2	ソングを選んでレッスンしてみよう	34
準備		ソングマスター.....	35
各部の名称	10	フレーズ練習.....	37
ご使用前の準備	12	お手本、タイミング、マイベース.....	38
電源を入れる/切る.....	12	鍵盤を弾く強さを意識しよう(タッチスタディ)	40
オートパワーオフ機能.....	13	コードの響きを体感しよう(コードスタディ)	41
音量(マスターボリューム)を調節する.....	13	コードをひとつずつ体感する.....	41
別売のヘッドホン/外部スピーカーを使う.....	14	コード進行を体感する.....	41
ペダルを使う.....	14	ソングのコード進行に合わせてコードを弾いてみよう(コードプログレッション)	42
譜面立てを使う.....	14	レッスン機能のマイベースと組み合わせて演奏する.....	42
画面表示と基本操作	15	自分の演奏を録音しよう	43
画面表示.....	15	ソングのトラック構成.....	43
基本操作.....	15	録音する.....	43
本編		トラックごとに録音する.....	44
いろいろな楽器音(ボイス)で弾いてみよう	16	ユーザーソングを消去する.....	44
楽器音(メインボイス)を選ぶ.....	16	好みのパネル設定を記憶させよう	45
グランドピアノの音で弾く.....	16	記録したパネル設定を呼び出す.....	45
メトロノームを使う.....	16	パネル設定をレジストレーションメモリーに記録する.....	46
もう1つの楽器音(デュアルボイス)を重ねる.....	17	レジストレーションメモリーを削除する.....	46
左手で右手とは違う楽器音(スプリットボイス)を弾く.....	17	登録した設定のうち呼び出したいくない項目を指定する(フリーズ).....	46
鍵盤のタッチレスポンスを変更する.....	18	マスターEQを設定して好みの音にしよう	47
エフェクトをかける.....	18	オーディオ機器の音をこの楽器で鳴らそう	48
ハーモニーまたはアルペジオを使う.....	20	メロディーパートの音を小さくする(メロディーキャンセル機能).....	49
二人で一緒に弾いてみよう(デュオ)	22	コンピューターやスマートデバイスと使う	50
リズムや自動伴奏に合わせて弾いてみよう(スタイル)	23	コンピューターに接続する.....	50
フィンガリングタイプ.....	23	スマートデバイスに接続する.....	50
フィンガリングタイプの設定.....	23	バックアップと初期化	51
スマートコードキーの設定.....	23	バックアップデータ.....	51
スタイルを再生する.....	24	初期化.....	51
スタイルに変化を付ける.....	25	機能設定	52
スタイル再生用のコードの押さえ方.....	26	資料	
スマートコードで再生されるコード.....	27	困ったときは.....	56
コードをコード辞書で調べる.....	28	楽器リスト.....	58
ミュージックデータベースを使う.....	29	スタンダードキット1リスト.....	64
スタイルファイルの登録.....	29	ソングリスト.....	65
再生テンポを変える.....	30	スタイルリスト.....	66
ソングを鳴らしてみよう	31	ミュージックデータベースリスト.....	68
デモソングを聞く.....	31	エフェクトタイプリスト.....	70
ソングを選んで聞く.....	31	仕様.....	74
BGMとして連続再生する.....	32	索引.....	75
ソングを早送り、早戻し、一時停止する.....	32		
内蔵ソングのメロディー音色を変更する.....	32		
ソングの一部をくり返して聞く(A-Bリピート).....	33		

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

■ 「警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

注記

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

電源アダプターについて



警告



禁止

ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。
電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源アダプターは、室内専用のため屋外および水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。
内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



注意



必ず実行

製品は電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

楽器本体について



警告

電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの(74ページ)を使用する。

異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

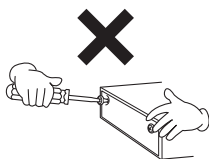
分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

電池



禁止

電池を分解しない。

電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



禁止

電池を火の中に入れてない。

破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの電池は、充電しない。

充電すると液漏れや破裂の原因になります。



禁止

電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。

電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



禁止

指定(74ページ)以外の電池を使用しない。

火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。

種類やメーカー、品番の異なる電池と一緒に使用したり、新しい電池と古い電池を一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。

電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。



禁止

電池は子供の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

異常に気づいたら



電源プラグを抜く

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおい煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



禁止

たこ足配線をしない。

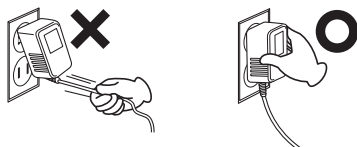
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかげがをしったりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々か転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。

また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様やほかの方々
がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。
聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

【Ⓛ】(スタンバイ / オン) スイッチを切った状態 (画面表示が消えている) でも微電流が流れています。【Ⓛ】(スタンバイ / オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- 使用場所の環境により強い電波の影響を受けると、まれに楽器が誤動作することがあります。
- スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてからお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなると、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- 本製品に搭載されている液晶画面は精密部品です。指で押すなど、力を加えないようご注意ください。なお、指で押すことにより画面表示が乱れることがあります。しばらくすれば元に戻ります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータ(51ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、コンピューターなどの外部機器に保存してください(50ページ)。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。
 - ※ 上記コンテンツとは、コンピュータプログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
 - ※ 上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。
- 本製品には株式会社リコーのBitmap Fontが使われています。

■ 製品の外觀について

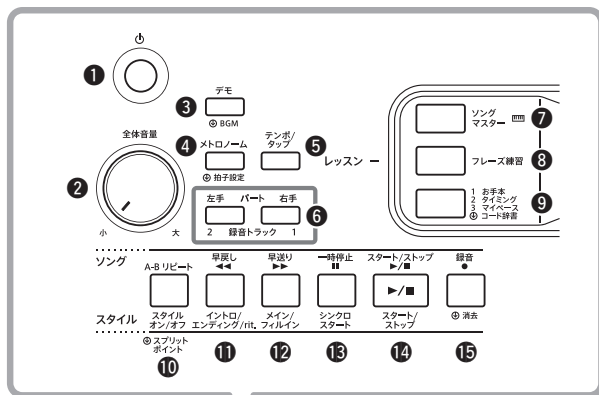
- 製品に線やキズが入っているように見える場合があります。これはケースを成型する際に現れる線(ウエルドライン)であり、ヒビやキズではありません。製品の使用上まったく問題ありません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

各部の名称

■フロントパネル



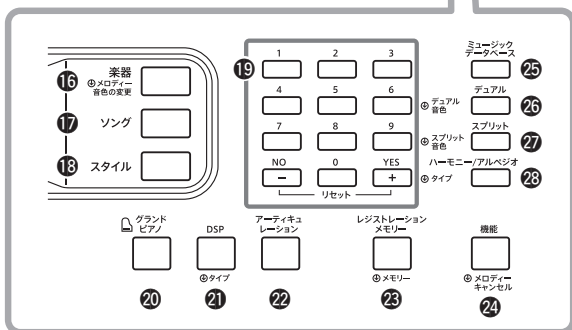
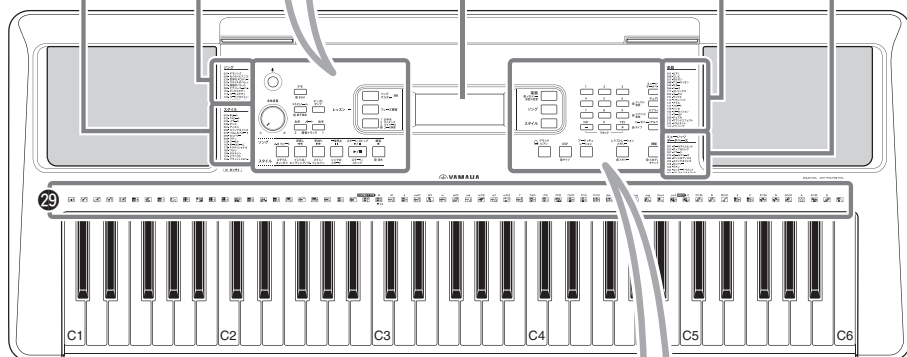
スタイルリスト
(66ページ)

ソングリスト
(65ページ)

画面
(15ページ)

楽器リスト
(58ページ)

ミュージック
データベース
リスト
(68ページ)



- ① [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ 13 ページ
- ② [全体音量] ダイアル 13 ページ
- ③ [デモ] ボタン 31 ページ
- ④ [メトロノーム] ボタン 16 ページ
- ⑤ [テンポ/タップ] ボタン 30 ページ

レッスンのとき

- ⑥ パート
 - [左手] ボタン 38 ページ
 - [右手] ボタン 38 ページ

録音のとき

- ⑥ [録音トラック 2] ボタン 43 ページ
- [録音トラック 1] ボタン 43 ページ

- ⑦ [ソングマスター] ボタン 35 ページ
- ⑧ [フレーズ練習] ボタン 37 ページ
- ⑨ [1 お手本 2 タイミング 3 マイペース] ボタン
..... 38 ページ

ソングのとき

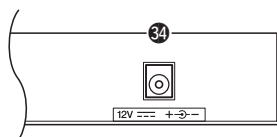
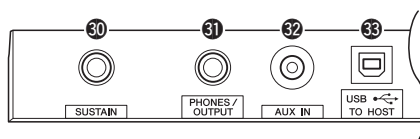
- ⑩ [A-B リピート] ボタン 33 ページ
- ⑪ [早戻し] ボタン 32 ページ
- ⑫ [早送り] ボタン 32 ページ
- ⑬ [一時停止] ボタン 32 ページ

スタイルのとき

- ⑩ [スタイル オン/オフ] ボタン 24 ページ
- ⑪ [イントロ/エンディング/rit.] ボタン 25 ページ
- ⑫ [メイン/フィルイン] ボタン 25 ページ
- ⑬ [シンクロスタート] ボタン 24 ページ

- ⑭ [スタート/ストップ] ボタン 24, 31 ページ
 - ⑮ [録音] ボタン 43 ページ
 - ⑯ [楽器] ボタン 16 ページ
 - ⑰ [ソング] ボタン 31 ページ
 - ⑱ [スタイル] ボタン 24 ページ
 - ⑲ 数字ボタン [0] ~ [9]、[+ / YES]、[- / NO]
..... 15 ページ
 - ⑳ [グラウンドピアノ] ボタン 16 ページ
 - ㉑ [DSP] ボタン 18 ページ
 - ㉒ [アーティキュレーション] ボタン 19 ページ
 - ㉓ [レジストレーションメモリー] ボタン 45 ページ
 - ㉔ [機能] ボタン 52 ページ
 - ㉕ [ミュージックデータベース] ボタン 29 ページ
 - ㉖ [デュアル] ボタン 17 ページ
 - ㉗ [スプリット] ボタン 17 ページ
 - ㉘ [ハーモニー / アルペジオ] ボタン 20 ページ
 - ㉙ ドラムキット用イラスト群 16 ページ
- スタンダードキット1を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器のイラストです。

■リアパネル




- ③⑩ [SUSTAIN] 端子 14 ページ
 - ③⑪ [PHONES/OUTPUT] 端子 14 ページ
 - ③⑫ [AUX IN] 端子 48 ページ
 - ③⑬ [USB TO HOST] 端子* 50 ページ
- * コンピューターと接続するための端子です。コンピューターとの接続方法など詳細は、2ページの電子マニュアル「コンピュータとつなぐ」をご覧ください。USBケーブルは、ABタイプのものでご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用になれません。
- ③⑭ DC IN 端子 12 ページ

パネル設定

この楽器では、操作パネルにあるボタンを使ってボイスやスタイルの選択、チューニングなどさまざまな設定ができます。これらパネル上のボタンを使って作られた設定を「パネル設定」と呼びます。

ボタンを「長く押す」マークについて

 このマークの付いたボタンを1秒以上押し続けると、そこに書かれた別機能に移ります。

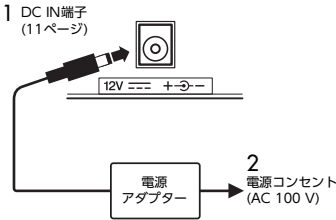
ご使用前の準備

電源の準備

この楽器の電源には、電源アダプターか電池を使用できますが、環境に配慮して、電源アダプターのご使用をおすすめします。

電源アダプターを使うときは

図の順序で電源アダプターを接続します。



警告

- 電源アダプターは、必ず指定のもの(74ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。

注意

- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。

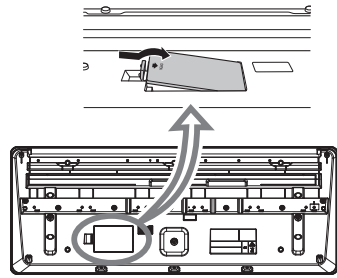
電池を使うときは

この楽器では、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、および充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できますが、使い方により大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池または充電電池のご使用をおすすめします。

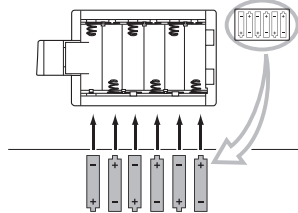
警告

- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

- 電源が切れていることを確認してください。
- 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。



- 電池6本を入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 電池カバーを閉めます。

お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定を切り替えてください。(次項参照)

注記

- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターのDCプラグを抜き差ししないでください。電源が一時的に切れて録音中や転送中のデータが失われますのでご注意ください。
- 電池は早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。

NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では、充電できません。
- 電池が本体に入っている状態で、電源アダプターが接続されている場合は、電源アダプターが電源として使われます。

■電池の種類を設定する

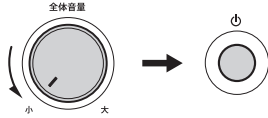
お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定(乾電池または充電電池)を切り替えてください。初期設定は、乾電池です。設定は、電源を入れたあと、機能設定(55ページ 機能番号061)で切り替えます。電池の種類を変えるときは、必ず設定してください。

注記

- 電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早め、使用可能時間が短くなります。正しい設定でお使いください。

電源を入れる/切る

- 1 [全体音量]ダイヤルを左に回し、音量を最小にします。



- 2 [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。
電源が入ると、画面に表示が現れます。音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。
- 3 電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します(1秒)。

注意

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

注記

- 電源を入れるときは、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ以外には操作(ペダルを踏むなど)しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、オートパワーオフ機能を搭載しています。これは、本体が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。電源が切れるまでの時間は、初期設定では30分ですが、変更することもできます。

■オートパワーオフするまでの時間を変更するには

[機能]ボタンを何度か押して、機能設定(55ページ 機能番号060)を呼び出します。呼び出したら[+/YES]、[-/NO]ボタンを押して、電源が切れるまでの時間を変更します。

設定値 : oFF, 5/10/15/30/60/120(分)

初期設定 : 30(分)

■オートパワーオフ機能を解除するには

電源を入れるとき、左端の鍵盤を押しながら電源を入れます。オートパワーオフ機能が解除され(画面に「oFF AutoOff」が表示されます)、自動的に電源が切れなくなります。機能設定(55ページ 機能番号060)をOFFに設定することも解除できます。



注記

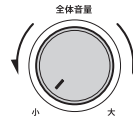
- 本体の状態によっては、一定時間操作せずにオートパワーオフの設定時間が経過しても電源が切れない場合があります。使用後は、手で本体の電源を切ってください。
- アンプ、スピーカー、コンピューターなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために取扱説明書の手順に従って外部機器と本体の電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフを解除してください。

NOTE

- オートパワーオフ機能で電源が切れた場合、それまでのパネル設定は自動的にバックアップされます。バックアップされる内容については、51ページをご覧ください。

音量(マスターボリューム)を調節する

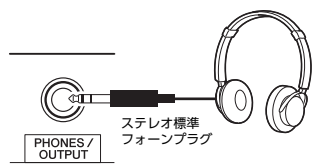
鍵盤を弾いて音を出しながら、[全体音量]ダイヤルを左右に回して、全体音量を調節します。



注意

- 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

別売のヘッドホン/外部スピーカーを使う



ヘッドホンを[PHONES/OUTPUT]端子に接続します。
[PHONES/OUTPUT]端子は外部出力端子にもなります。アンパ内蔵スピーカー、コンピューター、キーボードアンプ、レコーダーなどの入力端子に接続すれば、この楽器のオーディオ音声を外部機器で鳴らすことができます。ヘッドホンや外部機器を接続すると、自動的にこの楽器のスピーカーからは音が出なくなります。

注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量を最小にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

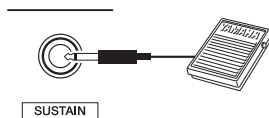
注記

- 楽器本体の音を外部機器に出力するときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行なってください。機器の損傷の原因になります。

NOTE

- ヘッドホンや外部スピーカーに接続して使用する場合、マスターEQを「Headphone」に設定して使うことをおすすめします。機能設定(53ページ 機能番号025)で切り替えます。

ペダルを使う



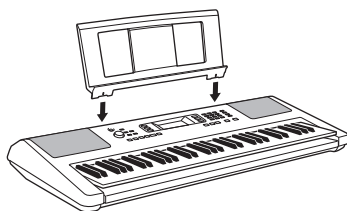
別売のフットスイッチ(FC5またはFC4A)を[SUSTAIN]端子に接続すると、サステイン、アーティキュレーション効果(19ページ)、アルペジオ(21ページ)の3つの機能をコントロールできます。初期設定ではサステイン機能が割り当てられていて、ピアノのダンパーペダルと同様、フットスイッチを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音を長く響かせることができます。サステイン以外の機能を使う場合は、機能設定(53ページ 機能番号029)で設定します。

NOTE

- フットスイッチのケーブルの抜き差しは、電源を切った状態で行なってください。
- フットスイッチを踏んだまま電源を入れないでください。フットスイッチのオン/オフが逆になります。
- スプリットボイス(17ページ)、スタイル(自動伴奏)(23ページ)にはフットスイッチは効きません。

譜面立てを使う

譜面立ては本体の溝に差し込んでお使いください。

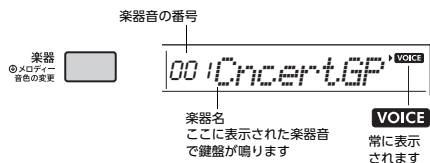


いろいろな楽器音(ボイス)で弾いてみよう

この楽器ではピアノやオルガンはもちろん、ギター、ベース、ストリングス、サクソ、トランペット、ドラムやパーカッション、効果音など、さまざまな楽器音(ボイス)を使って演奏することができます。

楽器音(メインボイス)を選ぶ

- 1 [楽器]ボタンを押します。
楽器音の番号と名前が表示されます。

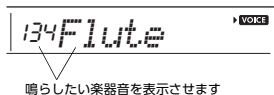


NOTE

- VOICE は単独では表示されません。常に SONG または STYLE と同時に表示されます。15ページをご参照ください。

- 2 数字ボタンや[+/YES]、[-/NO]ボタンを押して鳴らしたい楽器音を選択します。

楽器音と番号は、58ページの楽器リストをご覧ください。



- 3 鍵盤を弾いてみましょう。



楽器音の特徴

001~241	いろいろな楽器音(効果音も含む)です。
242~263 (ドラムキット)	「***キット」という名前のボイスには、いろいろな打楽器音が鍵盤に割り当てられており、鍵盤でドラム演奏ができます。割り当てられている打楽器については、64ページのスタンダードキット1リストおよび2ページの電子マニュアル「ドラムキットリスト」をご覧ください。
264~283	鍵盤を押さえるだけでアルペジオ(分散和音)が自動で再生されます(20ページ)。
284~622	XGlite(61ページ)のボイスです。
000	ワンタッチセッティング スタイルやソングを鳴らしながら鍵盤を弾いて演奏する場合、最適な楽器音を自動的に選択してくれる機能がワンタッチセッティングです。楽器音に楽器番号「000」を選ぶと、スタイルやソング([AUX IN]端子から入力したソングは除く)に最適な楽器音が自動的に選ばれます。

グランドピアノの音で弾く

いろいろな設定をリセットし、「とにかくピアノの音で弾きたい」というときは、[グランドピアノ]ボタンを押しましょう。



全鍵域の楽器音が、「ライブ!コンサートグランドピアノ」(楽器番号001)になります。

メトロノームを使う

この楽器にはメトロノーム機能があります。ピアノ曲を練習するときなどに使いましょう。

- 1 [メトロノーム]ボタンを押します。



カチカチと鳴ります。

- 2 もう一度ボタンを押すと止まります。

テンポを調節するには

[テンポ/タップ]ボタンを押して、画面にテンポを表示させます。数字ボタンや[+/YES]、[-/NO]ボタンを押して、画面でテンポの値を設定します。



数字ボタンを押して直接数値を入力することでも、テンポ調節できます。[+/YES]と[-/NO]ボタンを同時に押すと、そのソング/スタイル本来のテンポに戻ります。

拍子を設定するには

[メトロノーム]ボタンを1秒以上押して、「TimeSigN」(53ページ 機能番号030)を表示させ、[+/YES]、[-/NO]ボタンや数字ボタンを押して拍子を設定します。

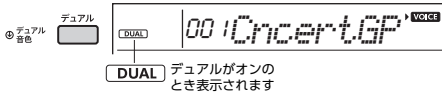
メトロノームの音量を設定するには

機能設定(53ページ 機能番号032)で設定します。

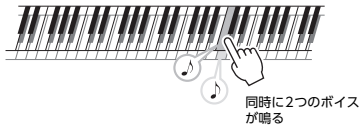
もう1つの楽器音(デュアルボイス)を重ねる

メインボイスに加えて、もう1つ別の楽器音(デュアルボイス)を重ねて鳴らせます。

- 1 [デュアル]ボタンを押してデュアルをオンにします。



- 2 鍵盤を弾いてみましょう。



- 3 もう一度[デュアル]ボタンを押すとデュアルはオフになります。

デュアルボイスを変更するには

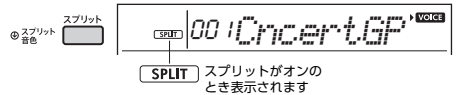
デュアルボイスは、現在のメインボイスに最適なものが自動的に選ばれますが、[デュアル]ボタンを1秒以上押し、[D.Voice] (52ページ 機能番号008)を表示させ、[+ /YES]、[- /NO]ボタンや数字ボタンを押して変更できます。

左手で右手とは違う楽器音(スプリットボイス)を弾く

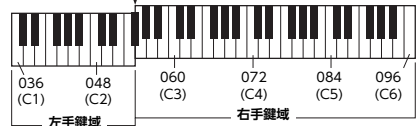
鍵盤全体を2つの領域に分けることで、右手と左手で違う楽器音を鳴らせます。

- 1 [スプリット]ボタンを押してスプリットをオンにします。

鍵盤が右手鍵域と左手鍵域に分割されます。



スプリットポイント…初期設定：054(F#2)



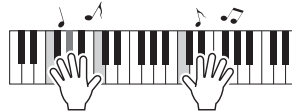
スプリットボイス
が鳴る

メインボイスとデュアルボイスが鳴る

右側の鍵盤でメインボイスとデュアルボイスを鳴らし、左側の鍵盤で「スプリットボイス」と呼ばれる楽器音を鳴らします。

左手鍵域と右手鍵域の境目を、スプリットポイントと呼び、機能設定(52ページ 機能番号003)で変更できます。

- 2 鍵盤を弾いてみましょう。



- 3 もう一度[スプリット]ボタンを押すとスプリットはオフになります。

スプリットボイスを変更するには

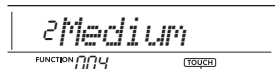
[スプリット]ボタンを1秒以上押し、[S.Voice] (53ページ 機能番号012)を表示させ、[+ /YES]、[- /NO]ボタンや数字ボタンを押して変更できます。

鍵盤のタッチレスポンスを変更する

鍵盤を強く弾いたときの音の強弱の付き方(タッチレスポンス)を、変更したり固定したりすることができます。(鍵盤自体の重さは変わりません。)

1 [機能]ボタンを何度か押してタッチレスポンスの項目「TouchRes」(52ページ 機能番号004)を表示させます。

「TouchRes」と数秒表示されたあと、現在の設定値が表示されます。



TOUCH タッチレスポンスが「Fixed」以外のときに表示されます

2 数字ボタン[1]～[4]や、[+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して、設定値を選びます。

タッチレスポンス

1	Soft	弱いタッチで弾いても比較的大きな音が出やすい設定です。指の力の弱い人がしっかり音を出したいときに有効です。
2	Medium	標準的なタッチです。
3	Hard	より強く弾かないと大きな音が出にくい設定です。繊細なピアノやアンサンブルから迫力のあるフォルティッシモまでダイナミックな表現が必要な演奏に適しています。
4	Fixed	タッチの強弱にかかわらず一定の音量が出ます。

3 鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を強く弾かに応じて、強弱メーターが点灯します。

弱く弾いたとき

中ぐらいの強さで弾いたとき

強く弾いたとき

NOTE

- タッチレスポンスが「Fixed」のときは、強弱メーターの表示は「中ぐらいの強さで弾いたとき」で固定されます。

エフェクトをかける

楽器の演奏音に以下のようなエフェクト(効果)をかけることができます。

●DSP

DSP(デジタルシグナルプロセッサ)は音にデジタル信号処理を施して、変化を付ける効果です。

DSPの使用をおすすめしているボイス、ソングが選ばれると、メインボイス、ソングパートにDSP効果が自動でかかります。

DSP効果にはいくつかの種類があり、DSPタイプと呼ばれます。DSPタイプは72ページをご覧ください。

以下の手順でDSPのオン・オフ、DSPタイプの変更を行うこともできます。

1 [DSP]ボタンを押してDSPをオンにします。

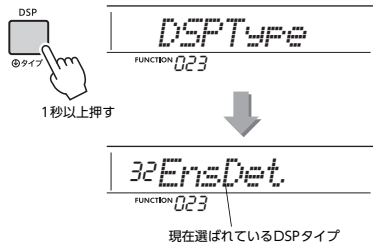
NOTE

- DSP効果はメインボイスにのみかかります。デュアル機能で追加されたボイス、スプリットされた左鍵盤域のボイスには、DSP効果はかかりません。
- レッスン中はDSPをオンにできません。

DSPをオンにすると、現在のパネル設定に最適なDSPタイプ(72ページ)が自動的に選ばれますが、自分で選ぶこともできます。



2 [DSP]ボタンを1秒以上押して、「DSPType」(53ページ 機能番号023)を表示させます。数秒後、現在のDSPタイプが表示されます。



3 数字ボタンや、[+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して、タイプを選びます。

4 鍵盤を弾いてみましょう。

5 もう一度[DSP]ボタンを押すとDSPはオフになります。

●アーティキュレーション

楽器特有の奏法を演奏音で再現する効果です。[アーティキュレーション]ボタンを押している間だけ、演奏音にアーティキュレーション効果がかかります。この効果をかけられる楽器音をS.Art Liteボイス(スーパーアーティキュレーションライトボイス)と呼びます。S.Art Liteボイスは、楽器リスト(58ページ)で「***」がつけられています。

アーティキュレーション効果の例

ギターを選択した場合、以下のようなギター固有の奏法をリアルに再現できます。

例：楽器番号044 [S.Art Liteナイロン弦ギター ハーモニクス]
アーティキュレーションボタンを押しながら鍵盤を弾くと、ハーモニクス音が鳴ります。

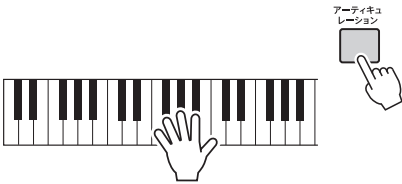
例：楽器番号048 [S.Art Liteディストーションギター]
アーティキュレーションボタンを押すと、スクラッチノイズが鳴ります。

アーティキュレーション効果はS.Art Liteボイスにのみかかります。S.Art Liteボイスが選択されている場合は、その楽器音に最適な効果がかかります。S.Art Liteボイス以外の楽器音が選択されている場合は、アーティキュレーション効果はかかりません。楽器音を揺らすような効果がかかります。

S.Art Liteボイスを選ぶと表示されます。



- 1 鍵盤を弾きながら、[アーティキュレーション]ボタンを押してみましょう。



- 2 [アーティキュレーション]ボタンを離すと、アーティキュレーションはオフになります。

ペダルを使ってアーティキュレーション効果をかける

機能設定(53ページ 機能番号029)でペダル(フットスイッチ)にアーティキュレーション機能を割り当てると、ペダルを踏むことで効果をかけられます。

NOTE

- アーティキュレーション効果はメインボイスにのみかかります。
- S.Art Liteボイスは、鍵盤を強く強さ(ペロシティー)などによって鳴り方が変わります。

●リバーブ

コンサートホールやライブハウスで演奏しているような残響効果です。リバーブタイプは、スタイル/ソング選択時に自動的に最適なものが選択されますが、機能設定(53ページ 機能番号020)で変更することもできます。「oFF」を選ぶとリバーブはオフになります。また、リバーブ効果のかかり具合を、機能設定(53ページ 機能番号021)で調整することもできます。

●コーラス

演奏音に広がりやうねりを持たせる効果です。コーラスタイプは、スタイル/ソング選択時に自動的に最適なものが選択されますが、機能設定(53ページ 機能番号022)で変更することもできます。「oFF」を選ぶとコーラスはオフになります。また、鍵盤演奏音のみコーラス効果のかかり具合を機能設定(52ページ 機能番号007、011、53ページ 機能番号015)で調整することもできます。スタイル/ソングに対するコーラス効果のかかり具合は変更できません。

●サステイン

機能設定(53ページ 機能番号024)でオンにすることにより、メインボイス/デュアルボイスの演奏音に常に余韻を付けることができます。また別売りのフットスイッチ(14ページ)を使うと、ピアノのダンパーペダルのようなサステイン効果をかけることができます。

NOTE

- サステインをオンにしても効果がかからない音色もあります。

ハーモニーまたはアルペジオを使う

鍵盤演奏音に対してハーモニー音を自動で付加したり、鍵盤を押さえるだけでアルペジオ(分散和音)の自動再生ができます。ハーモニータイプを選ぶと、メインボイスの演奏音にデュエットやトリオなどのハーモニーや、トレモロ、エコーなどの効果をかけられます。アルペジオタイプを選ぶと、鍵盤を押さえるだけで、アルペジオ(分散和音)の自動再生ができます。たとえばコード(和音)のドミソを押さえると、ド、ミ、ソの音を使ってさまざまな分散和音がフレーズのように生成されます。音楽制作やパフォーマンスでの心強い味方となるでしょう。

1 [ハーモニー / アルペジオ] ボタンを押して、ハーモニーまたはアルペジオをオンにします。



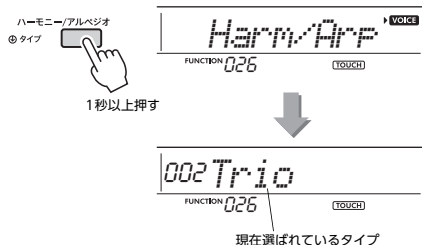
オンにすると、そのときの楽器音に最適なハーモニーまたはアルペジオタイプが自動的に選ばれます。自分で好きなタイプを選択したいときは、手順2~3の操作で選択します。

NOTE

- ハーモニー効果はメインボイスにのみかかります。
- 264~283の楽器音は、選ぶだけでアルペジオ機能が自動的にオンになります。それ以外の楽器音では、[ハーモニー / アルペジオ] ボタンを押して、アルペジオ機能をオンにしてください。
- ハーモニータイプ001~005を選択した場合は、スタイルをオン(24ページ)にして自動伴奏鍵域でコードを弾きながら右手鍵盤を弾くと、ハーモニー効果がかかります。

2 [ハーモニー / アルペジオ] ボタンを1秒以上押して、[Harm/Arp] (53ページ 機能番号026)を表示させます。

[Harm/Arp] が数秒表示されたあと、現在のタイプが表示されます。



3 数字ボタンや、[+ / YES]、[- / NO] ボタンを押して、タイプを選びます。

ハーモニータイプを選択したい場合は、70ページのハーモニータイプリストをご覧ください。アルペジオタイプを選択したい場合は71ページのアルペジオタイプリストをご覧ください。

NOTE

- 143~176番のアルペジオタイプを演奏するときは、以下の音色をメインボイスとして選択してください。
- 143~173番：ドラムキット(楽器番号242~252)を選択してください。
- 174番(China)：楽器番号253「スタンダードキット1+中国打楽器」を選択してください。
- 175番(Indian)：楽器番号254「インドキット1」または、楽器番号255「インドキット2」を選択してください。
- 176番(Arabic)：楽器番号259「アラビックキット」を選択してください。

4 鍵盤を押さえてみましょう。

ハーモニータイプを選んだ場合、メインボイスの演奏音にデュエットやトリオなどのハーモニーや、トレモロ、エコーなどの効果がかかります。アルペジオタイプを選んだ場合、鍵盤を押さえるだけでアルペジオ(分散和音)が自動で再生されます。アルペジオについては、押さえる鍵盤を変えることにより、再生されるアルペジオ(分散和音)も変わります。



5 もう一度[ハーモニー / アルペジオ] ボタンを押すと、効果はオフになります。

タイプ別の弾き方

ハーモニー (01~26)はタイプ別に弾き方が異なります。01~05は、スタイルオン時、自動伴奏鍵盤でコードを押さえてスタイルを鳴らし、右側の鍵盤を弾くとハーモニー音がかかります。06~26はスタイル オン/オフには関係ありませんが、06~12は2音同時に押さえる必要があります。

●ハーモニータイプ001~005



スタイルをオン(24ページ)にして自動伴奏鍵盤でコードを弾きながら右手鍵盤を弾く

●ハーモニータイプ006~012(トリル)



鍵盤を2つ押さえ続ける

●ハーモニータイプ013~019(トレモロ)



鍵盤を押さえ続ける

●ハーモニータイプ020~026(エコー)



鍵盤を弾く

●アルペジオタイプ027~176

スプリットオフの場合：



メインボイス/デュアルボイスにアルペジオが自動再生されます。

スプリットオンの場合：



スプリットボイスにのみアルペジオが自動再生されます。

NOTE

- アルペジオ再生は、スプリットボイスとメイン/デュアルボイスに同時にはかかりません。
- メインボイスとして274~283の楽器音を選択すると、アルペジオとスプリットの両方が自動的にオンになります。

ハーモニー音量を調節するには

機能設定(53ページ 機能番号027)で変更します。

アルペジオロシティーを調節するには

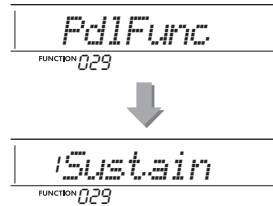
機能設定(53ページ 機能番号028)で変更します。

ペダルでアルペジオを鳴らし続ける(ホールド)

鍵盤から指を離しても、[SUSTAIN]端子に接続したフットスイッチ(ペダル)を踏み続けることでアルペジオを鳴らし続けることができます。

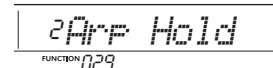
1 [機能]ボタンを何度か押して、「PdlFunc」(53ページ 機能番号029)を画面に表示させます。

「PdlFunc」と数秒表示されたあと、現在フットスイッチに割り当てられている機能が表示されます。



2 数字ボタンや、[+/YES]、[-/NO]ボタンを押して、「Arp Hold」を選びます。

フットスイッチの機能を通常のサステインペダルに戻したいときは、「Sustain」を選びます。アルペジオホールドとサステインを同時に有効にしたいときは、「Sus+ArpH」を選びます。



3 鍵盤を弾くことでアルペジオ再生が始まったら、ペダルを踏んでみましょう。

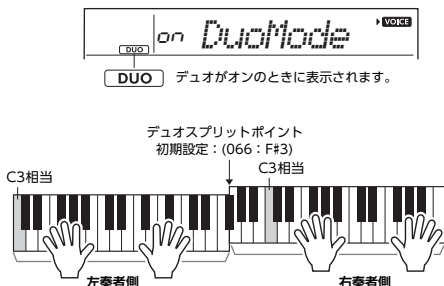
鍵盤から指を離してもアルペジオは鳴り続けます。アルペジオ再生を止める場合は、フットスイッチから足を離します。

二人で一緒に弾いてみよう(デュオ)

デュオモードをオンにすると、鍵盤が左右の鍵域に分かれ、同時に二人が同じ音域で演奏できます。1台の楽器で二人同時に演奏したり、二人並んで座り、一人がお手本を弾き、もう一人がそれを見ながら練習したりする、といった使い方ができます。

1 [機能]ボタンを何度か押して、「DuoMode」(54ページ 機能番号048)を画面に表示させます。

2 [+ /YES]ボタンを押して、「on」を選びます。066 (F#3)がデュオスプリットポイントとなり、鍵盤が左奏者側と右奏者側に分かれます。



NOTE

- 右奏者側と左奏者側では、同じ音色(メインボイス)に設定されます。
- デュオスプリットポイントは、機能設定画面(54ページ 機能番号050)で変更できます。

3 左側鍵域と右側鍵域に分かれて、二人で演奏しましょう。

4 デュオモードを解除するには、「DuoMode」を呼び出し(手順1参照)、[- /NO]ボタンを押して「oFF」にします。

左奏者側の音色を変更する

左奏者の楽器音のみを変更するには、機能設定(54ページ 機能番号049)で選択します。左奏者の楽器音と右奏者の楽器音が異なる場合は、画面には右奏者の楽器音が表示されます。

NOTE

- デュオモードではレッスン、ハーモニー/アルペジオやデュアル機能など、一部ご使用にできない機能があります。

デュオモードでのスピーカー音

デュオモードの初期設定では、左側鍵域の演奏音が左側のスピーカーから、右側鍵域の演奏音が右側のスピーカーから鳴ります。スピーカー音の鳴らし方については、下記手順で変更ができます。

1. 機能設定で「DuoType」(55ページ 機能番号055)を呼び出します。
2. 「Balance」または「Separate」のどちらかを選択することにより、左右のスピーカーの出力方法を選択します。
 - 「Balance」：左側鍵域と右側鍵域の演奏音が、左右両方のスピーカーで鳴ります。
 - 「Separate」：左側鍵域の演奏音が左側のスピーカーで、右側鍵域の演奏音が右側のスピーカーで鳴ります。

デュオモードでの初期設定は「Separate」です。

NOTE

- デュオモードでは、「DuoType」= Separate (55ページ 機能番号055)の設定により、ステレオサウンドの定位(パン)や左右の音質や音量が、通常とは聞こえ方が違います。特にキーごとに定位の異なるドラムキットなどではご注意ください。

デュオモードでのサステイン効果

通常モードと同様、デュオモードでも下記いずれかの方法で鍵盤演奏音に余韻(サステイン効果)を付けられます。いずれも、左側鍵域と右側鍵域の両方に効果をかけられます。

- [SUSTAIN]端子に接続したフットスイッチ(14ページ)を踏む。
- 機能設定(53ページ 機能番号024)をONに設定する。鍵盤演奏音に常に余韻が付きます。

NOTE

- サステイン効果は左側鍵域と右側鍵域で別々にかけることはできません。
- サステインは、オンにしたまま電源を切ると、オンの状態が保持されます。

リズムや自動伴奏に合わせて弾いてみよう(スタイル)

自動伴奏機能を使うと、左手でコードのルート音または和音を弾くだけで、自動的にそのコードに合ったスタイル(リズム+ベース音+コード音)を鳴らせます。この楽器では、コードの弾き方を、指一本で鍵盤を押してコードを弾く「スマートコード」と、コードを構成する音をそのまま弾く「マルチ」の2つから選べます。この自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

フィンガリングタイプ

スタイル再生するとき、自動伴奏領域で弾くコードの弾き方をフィンガリングタイプと呼び、機能設定(53ページ 機能番号017)で設定します。この楽器では、2つのフィンガリングタイプから選べます。

● スマートコード(SmartChd) (初期設定)

コードのルート音(根音)だけを弾いて自動伴奏を鳴らす弾き方です。

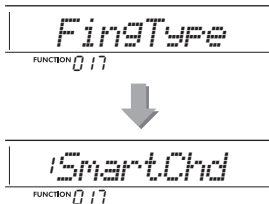
● マルチ(Multi)

コードを構成する音をそのまま弾いて自動伴奏を鳴らす弾き方です。ただし、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスは、鍵盤を1~3個押さえて簡単に弾くこともできます。

コードについては「スタイル再生用のコードの押さえ方」(26ページ)や「コードをコード辞書で調べる」(28ページ)をご覧ください。

フィンガリングタイプの設定

- 1 [機能] ボタンを何度か押して、「FingType」(53ページ 機能番号017)を画面に表示させます。「FingType」と数秒表示されたあと、現在のフィンガリングタイプが表示されます。



- 2 数字ボタンや、[+ / YES]、[- / NO] ボタンを押して、「SmartChd」または「Multi」を選びます。
- 3 [スタイル] ボタンを押して、フィンガリングタイプの設定を終了します。

スマートコードキーの設定

フィンガリングタイプでスマートコードを選択した場合、演奏前に、楽譜に記載されたシャープ(♯)やフラット(♭)の数から、弾く曲の調を設定します。

この調のことを「スマートコードキー」と言います。スマートコードキーは、以下の手順で設定します。

- 1 [機能] ボタンを何度か押して、「S.ChdKey」(53ページ 機能番号018)を画面に表示させます。現在のスマートコードキーが表示されます。



- 2 [+ / YES]、[- / NO] ボタンを押して、楽譜に合ったスマートコードキーを設定します。たとえば、下記の楽譜を弾きたい場合は、機能設定でスマートコードキーを「FL2(フラット2個)」に設定します。(27ページ)

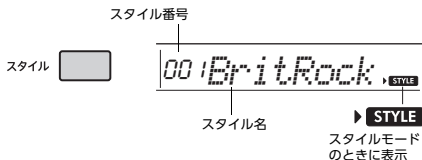


- 3 [スタイル] ボタンを押して、スマートコードキーの設定を終了します。

スタイルを再生する

- 1 [スタイル]ボタンを押してから、数字ボタンや[+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して好きなスタイルを選びます。

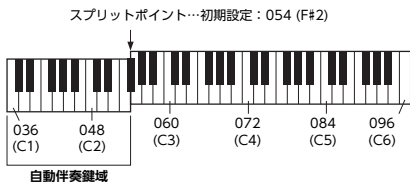
パネル、または66ページのスタイルリストをご覧ください。



- 2 [スタイル オン/オフ]ボタンを押して、スタイル(自動伴奏)をオンにします。



この操作により、スプリットポイント(054 : F#2)より左側の鍵盤が、コードだけを認識する「自動伴奏鍵域」になります。



スプリットポイントは、[スタイル オン/オフ]ボタンを1秒以上押し、機能設定画面(52ページ 機能番号003)で変更できます。

NOTE
 ・強弱メーター(18ページ)は自動伴奏域の演奏には反応しません。

- 3 [シンクロスタート]ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします。

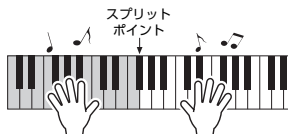
これにより、鍵盤を弾くと同時にスタイルがスタートする状態になります。



- 4 自動伴奏鍵域で鍵盤を押し、スタイルをスタートさせます。

スマートコードを選択しているときは、左手でコードのルート音を弾きます。マルチを選択しているときの弾き方は、26ページをご覧ください。

左手でいろいろなコードを弾き、右手でメロディーを弾いてみましょう。



- 5 [スタート/ストップ]ボタンを押してスタイルをストップします。



スタイルは、セクション(伴奏パターン)を切り替えて演奏に変化を付けられます。詳しくは25ページの「スタイルに変化を付ける」をご覧ください。

リズムパートだけを鳴らすには

手順2で[スタイルオン/オフ]ボタンを押さずに、[スタート/ストップ]ボタンを押すことで、リズムパートだけを再生して、全鍵域を使ってメロディー演奏ができます。

NOTE

・197~205の「ピアニスト」カテゴリのスタイルはリズムパートがないためリズムは鳴りません。これらのスタイルは、スタイルをオンにした状態で[スタート/ストップ]ボタンを押し、スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、リズム以外のベース音やコード音を含むスタイルが鳴ります。

スタイルの音量を調節する

スタイルの音量を調節することにより、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。機能設定(53ページ 機能番号016)で調節します。

スタイルに変化を付ける

スタイルは、下記セクション(伴奏パターン)でできています。セクションを切り替えて、演奏を盛り上げてみましょう。



●イントロ(INTRO)

演奏開始時に使います。イントロ再生が終了するとメインに移ります。イントロの小節数はスタイルによって異なります。

●メイン(MAIN)

曲のメイン部分の演奏で使います。ほかのセクションボタンを押すまで、くり返し再生されます。A、Bの2種類のバリエーションがあり、左手で押さえたコードに合わせて再生されます。

●フィルイン(AUTO FILL)

メインのA、Bが切り替わる時に自動的に挿入されます。

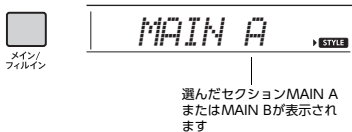
●エンディング(ENDING)

演奏の終わりに使います。エンディングの再生が終了と同時に、スタイル再生も終了します。エンディングの小節数はスタイルによって異なります。

1～3

24ページの「スタイルを再生する」の操作1～3と同じです。

4 [メイン/フィルイン]ボタンを押して、メインAかBを選びます。



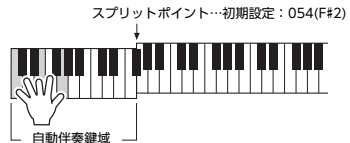
5 [イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押します。



これで、イントロ→メインAの順でスタイル再生を始める準備ができました。

6 自動伴奏鍵域でコードを押さえると、スタイルのイントロがスタートします。

たとえばCメジャーを押さえてみましょう。機能設定(53ページ 機能番号017)でマルチを選択している場合とスマートコードを選択している場合とで、押さえ方が異なります。26、27ページをご覧ください。



7 イントロが終わったら、曲の進行に合わせて演奏します。

左手でコード、右手でメロディーを弾きます。また、必要に応じて[メイン/フィルイン]ボタンを自由に押します。フィルインをはさんで、メインセクションA/Bが切り替わります。



8 [イントロ/エンディング/rit.]を押します。




























エンディングに切り替わり、エンディングの再生終了と同時にスタイル再生も終了します。エンディング再生中にもう1度[イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押すと、リタルダンドして(だんだん遅くなって)スタイルは終了します。

スタイル再生用のコードの押さえ方

ここでは、初めてコードを弾く方のために、よく使われるコードの自動伴奏鍵域での押さえ方をご紹介します。
この楽器のコード辞書機能(28ページ)でも、コードを調べることができます。また、このほかにもたくさんのコードがありますので、もっと詳しく知りたい場合は、市販のコード表などをご覧ください。

フィンガリングタイプ(23ページ)がマルチの場合は、自動伴奏鍵域でコードを構成する鍵盤を弾きます。スマートコードの場合は、自動伴奏鍵域で「★」のルート音の鍵盤を弾きます。

★がルート音(根音)です。

メジャー	マイナー	セブンス	マイナーセブンス	メジャーセブンス
C 	Cm 	C7 	Cm7 	CM7 
D 	Dm 	D7 	Dm7 	DM7 
E 	Em 	E7 	Em7 	EM7 
F 	Fm 	F7 	Fm7 	FM7 
G 	Gm 	G7 	Gm7 	GM7 
A 	Am 	A7 	Am7 	AM7 
B 	Bm 	B7 	Bm7 	BM7 

- コード押鍵はその転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。
m7、m7♭5、m7(11)、6、m6、sus4、aug、dim7、7♭5、6(9)、sus2
- 7sus4は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- コードとして成立しない鍵盤が押された場合、画面にコード名は表示されません。
また、そのときのスタイル演奏は、リズムなど一部のパートだけになります。

マルチでは、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスは、鍵盤を1〜3個押さえて簡単に弾くこともできます。

《簡単な押さえ方 Cの例》



メジャー (M)

ルート音(★)を押さえてください。



マイナー (m)

ルート音と、ルート音に一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。



セブンス (7)

ルート音と、ルート音に一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。



マイナーセブンス (m7)

ルート音と、ルート音に一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

スマートコードで再生されるコード

フィンガリングタイプがスマートコードの場合、楽譜の調号に基づきスマートコードキーを設定(23ページ)すると、自動伴奏鍵域で各鍵盤を押したときに以下のコードが鳴ります。

楽譜の調号	スマートコードキー (画面表示)	ルート音											
		D \flat		E \flat		F \sharp		G \sharp		A \flat		B	
		C	D	E	F	G	A	B					
	FL7	C dim	D \flat m	D dim7	E \flat 1+5	E	F dim	F \sharp 7	G	G \sharp m	A	B \flat m7 \flat 5	B
	FL6	C dim	D \flat 7	D	E \flat m	E	F m7 \flat 5	F \sharp	G dim	G \sharp m	A dim7	B \flat 1+5	B
	FL5	C m7 \flat 5	D \flat	D dim	E \flat m	E dim7	F 1+5	F \sharp	G dim	G \sharp 7	A	B \flat m	B
	FL4	C 1+5	D \flat	D dim	E \flat 7	E	F m	F \sharp	G m7 \flat 5	G \sharp	A dim	B \flat m	B dim7
	FL3	C m	D \flat	D m7 \flat 5	E \flat	E dim	F m	F \sharp dim7	G 1+5	G \sharp	A dim	B \flat 7	B
	FL2	C m	D \flat dim7	D 1+5	E \flat	E dim	F 7	F \sharp	G m	G \sharp	A m7 \flat 5	B \flat	B dim
	FL1	C 7	D \flat	D m	E \flat	E m7 \flat 5	F	F \sharp dim	G m	G \sharp dim7	A 1+5	B \flat	B dim
	調号 0 個 SP0 (初期設定)	C	D \flat dim	D m	E \flat dim7	E 1+5	F	F \sharp dim	G 7	G \sharp	A m	B \flat	B m7 \flat 5
	SP1	C	D \flat dim	D 7	E \flat	E m	F	F \sharp m7 \flat 5	G	G \sharp dim	A m	B \flat dim7	B 1+5
	SP2	C	D \flat m7 \flat 5	D	E \flat dim	E m	F dim7	F \sharp 1+5	G	G \sharp dim	A 7	B \flat	B m
	SP3	C dim7	D \flat 1+5	D	E \flat dim	E 7	F	F \sharp m	G	G \sharp m7 \flat 5	A	B \flat dim	B m
	SP4	C	D \flat m	D	E \flat m7 \flat 5	E	F dim	F \sharp m	G dim7	G \sharp 1+5	A	B \flat dim	B 7
	SP5	C dim	D \flat m	D dim7	E \flat 1+5	E	F dim	F \sharp 7	G	G \sharp m	A	B \flat m7 \flat 5	B
	SP6	C dim	D \flat 7	D	E \flat m	E	F m7 \flat 5	F \sharp	G dim	G \sharp m	A dim7	B \flat 1+5	B
	SP7	C m7 \flat 5	D \flat	D dim	E \flat m	E dim7	F 1+5	F \sharp	G dim	G \sharp 7	A	B \flat m	B

NOTE

・「1+5」のコードは、楽器の画面では、メジャーと同じ表示になります。

コードをコード辞書で調べる

コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合は、コード辞書で調べてみましょう。

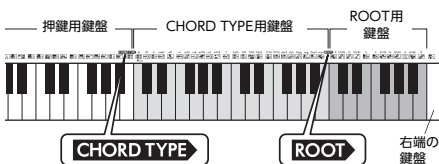
1 [1 お手本 2 タイミング 3 マイペース]ボタンを1秒以上押します。

画面に「Dict.」が表示されます。



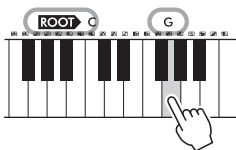
この操作により、鍵盤が下図にあるとおり3つの部分に分かれます。

- 「**ROOT**」表示から右：
ルート音を指定する鍵域で、音は鳴りません。
- 「**CHORD TYPE**」～「**ROOT**」の間：
コードタイプを指定する鍵域で、音は鳴りません。
- 「**CHORD TYPE**」より左：
上記2つの鍵域で指定したコードを実際に押さえてみるための鍵域。

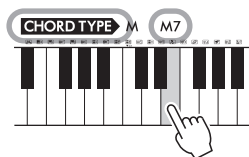


2 たとえば、GM7(Gメジャーセブンス)の押さえ方を調べましょう。

- 2-1. 「**ROOT**」の右側鍵域のGを押すと、ルート音として「G」が画面に表示されます。



- 2-2. 「**CHORD TYPE**」の右側鍵域から「M7」の鍵盤を押すと、画面表示が「GM7」となり、その押さえ方が鍵盤イラストで表示されます。



調べたコードのコード名



調べたコードの押さえ方

- [+ /YES]、[- /NO]ボタンを押すと、コードの転回形を表示します。

NOTE

- 通常、メジャーのコード名はルート音名だけで表記します。たとえば、「C」とだけ表示されていたら、Cメジャーを意味します。メジャーコードを調べる場合は、ルート音の鍵盤を押したあとに、コードタイプ「M」の鍵盤を押してください。
- コード辞書では、6(9)、M7(9)、M7(#11)、b5、M7b5、M7aug、m7(11)、mM7(9)、mM7b5、7b5、sus2は表示されません。

- 3 画面の表示に従って、「**CHORD TYPE**」表示より左側の鍵域でコードを押さえてみましょう。正しくコードが押さえられると、「ピン」と鳴り表示が点滅します。

- 4 コード辞書から抜けるには[楽器]、[ソング]、[スタイル]ボタンのいずれかを押します。

ミュージックデータベースを使う

自分の好きなジャンルの音楽を演奏するための最適なスタイルや楽器音(ボイス)がわからない場合にこの機能を活用しましょう。好きな音楽ジャンルを選ぶだけで、最適なパネル設定が呼び出されます。

- 1 [ミュージックデータベース]ボタンを押します。画面にミュージックデータベース名が表示され、シンクロスタートとスタイルがオンになります。

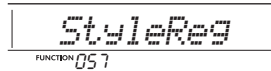


- 2 数字ボタンや[+/YES]、[-/NO]ボタンを押して、弾きたい曲のイメージに合うミュージックデータベースを選びます。フロントパネルのミュージックデータベースリストのカテゴリー名や、68ページのミュージックデータベースリストを参考に選びます。楽器音(ボイス)やスタイルが自動で設定されます。
- 3 24ページの手順4~5のように、演奏しましょう。

スタイルファイルの登録

スタイル番号206~215のいずれかに、外部で作られたスタイルファイル(.STY)を登録し、内蔵スタイルと同じように演奏できます。

- 1 この楽器をコンピューターにつないで、コンピューターからスタイルファイル(***.STY)を転送します。転送の手順については、2ページの電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。
- 2 [機能]ボタンを何度か押して、スタイルファイル登録の項目「StyleReg」(55ページ 機能番号057)を表示させます。



2秒後、登録可能なスタイルファイル名が画面に表示されます。

- 3 複数のスタイルファイルがあらかじめ楽器内に転送されている場合は、[+/YES]、[-/NO]ボタンを何度か押すことで、別のスタイルファイルを選びます。
 - 4 [0]ボタンを押します。画面に、登録先のスタイル番号が「*** Load To?」(***は206~215の数字)と表示されます。別の番号に登録したいときは、[+/YES]、[-/NO]ボタンを押して番号を選びます。
 - 5 [0]ボタンを押します。登録の実行を確認するメッセージが表示されます。登録を中止する場合は、[-/NO]ボタンを押します。
 - 6 [+/YES]ボタンを押して、登録を実行します。登録が完了すると、画面にメッセージ「Complete」が表示されます。
- 注記**
- ・実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切らないでください。データ損失の原因になります。
- 7 [スタイル]ボタンを押し、スタイル番号206~215のいずれかを選び、読み込んだスタイルデータを再生してみましょう。

再生テンポを変える

スタイルやソング(31ページ)の再生時のテンポを変えることができます。[テンポ/タップ]ボタンを押して、画面に「Tempo」を表示させ、数字ボタンや[+/YES]、[-/NO]ボタンを押してテンポの値を設定します。



[+/YES]と[-/NO]ボタンを同時に押すと、現在のスタイル/ソングの初期テンポに戻ります。

タップ機能を使う

ソングやスタイルの再生中に、[テンポ/タップ]ボタンを2回押すとテンポを変えられます。間隔を空けて押すとテンポはゆっくりに、間隔を空けずに素早く押すとテンポは速くなります。停止中は、選ばれているスタイル/ソングが4拍子なら4回、3拍子なら3回、[テンポ/タップ]ボタンを押すと、その間隔のテンポで再生をスタートできます。



ソングを鳴らしてみよう

ソングとは通常「歌」を意味しますが、この楽器では曲データを指します。この楽器に内蔵されているソングは、聞いて楽しむだけでなく、レッスン機能など、この楽器に備わっている機能と組み合わせて使えます。

●ソングカテゴリー

ソングはそれぞれの特徴によってカテゴリー分けされています。

ソング

- 001-デモソング
- 004-わくわくピアニスト
- 020-世界のメロディー
- 051-スタイルのパレット
- 071-楽器のパレット
- 080-ピアノバートリー
- 103-タッチスタディ
- 113-コードスタディ
- 125-コードプログレッション
- 155-ユーザーソング
- 160-フラッシュメモリー

- この楽器で再現できるいろんな音をデモンストレーションしています。
- 1つの曲にやさしい版と、チャレンジ版の2バリエーション用意しました。初めての方はやさしい版で練習してみてください。
- 歌い継がれる世界の民謡や、よく知られたクラシックの曲を集めました。メロディーを弾いて参加しましょう。
- スタイル(自動伴奏データ)と一緒に曲演奏を楽しみましょう。ソングマスター (35ページ) を使って、右手のメロディー演奏ができるようになったら、左手でコードのルート音を覚える練習をしましょう。
- ピアノ以外の楽器が主役の曲を集めました。オーケストラの伴奏と一緒に、その音色を体験しましょう。
- ピアノ以外の楽器が主役の曲を集めました。オーケストラとの共演やソロスタイルで、ピアノの美しい響きをお楽しみください。
- LCDの強弱表示に合わせて鍵盤を弾き、弾く強さ(タッチ)を意識する練習をしましょう。
- LCDの表示に合わせて鍵盤を弾き、コードの響きや簡単なコード進行を体感しましょう。
- 基本的なコード進行のソングに合わせてコードを弾き、コードの押さえ方を覚えましょう。
- 自分の演奏を録音したソング(ユーザーソング)です。
- コンピューターから楽器へ転送したソングです。コンピューターから楽器にソングを転送する手順については、2ページの電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

デモソングを聞く

[デモ]ボタンを押します。



デモソング(ソング番号001~003)が順番に演奏され、最後のソングが再生し終わると、また最初のソングに戻ってくり返し再生されます。ストップしたいときは、もう一度[デモ]ボタンまたは[スタート/ストップ]ボタンを押します。

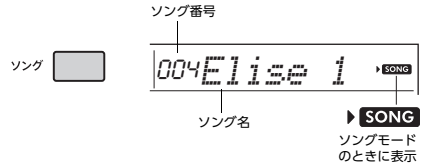
NOTE

- [デモ]ボタンを押したあと、[+/YES]ボタンを押すと、次のソングを選ぶことができます。[-/NO]ボタンを押すと、前のソングを選ぶことができます。選択範囲は、そのとき選ばれているデモグループ内のソングです。デモグループについて詳しくは、32ページをご覧ください。

ソングを選んで聞く

1 [ソング]ボタンを押して、好きなソングを選びます。

65ページのソングリストを参考に、数字ボタンや[+/YES]、[-/NO]ボタンを使って好きなソングを選びます。



2 [スタート/ストップ]ボタンを押してソングを聞いてみましょう。

もう一度[スタート/ストップ]ボタンを押すと、ソングの再生は止まります。



テンポを変えるには

30ページ「再生テンポを変える」をご覧ください。

ソングの音量を調節するには

ソングの音量を調節することにより、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。機能設定(53ページ 機能番号019)で調節します。

BGMとして連続再生する

初期設定で[デモ]ボタンを押すと、内蔵デモソング3曲だけが連続再生されますが、連続再生の対象を内蔵ソング全曲に変えることができます。これにより、さまざまな曲をBGMとして鳴らすことができます。

1 [デモ]ボタンを1秒以上押します。

機能設定「DemoGrp」(55ページ 機能番号058)が画面に数秒表示されたあと、現在の再生対象のグループが表示されます。



2 [+ / YES]、[- / NO]ボタンを押して、連続再生させたいグループ(デモグループ)を以下から1つ選びます。

Demo	内蔵ソング001~003
Preset	内蔵ソング001~102
User	ユーザーソング全曲(155~159)
Download	コンピューターから楽器に転送したソング全曲(160~)

NOTE

- User、Downloadにデータがない場合は、Demoが流れます。

3 [デモ]ボタンを押します。

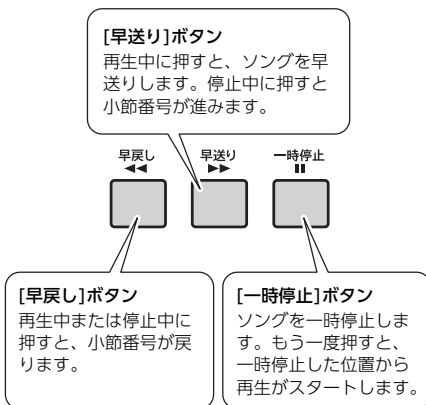
選択したグループの曲が、連続再生されます。再生をストップさせたいときは、もう一度[デモ]ボタンを押す、または[スタート/ストップ]ボタンを押します。

ランダムな順番で再生する

デモグループが「Demo」以外に設定されている場合は、[デモ]ボタンでの再生の順番を番号順とランダムな順番とで切り替えることができます。[機能]ボタンを何度か押して、機能設定「PlayMode」(55ページ 機能番号059)を表示させ、「Normal」か「Random」を選びます。

ソングを早送り、早戻し、一時停止する

オーディオプレーヤーのようにソングの再生をコントロールできます。



NOTE

- A-Bリピート(33ページ)が設定されている場合、早送りや早戻しはその設定範囲内でのみ可能です。
- [デモ]ボタンを使ってソングを鳴らしているときは、[早戻し]、[早送り]、[一時停止]ボタンは使えません。

内蔵ソングのメロディー音色を変更する

内蔵ソングのメロディー音色を、好みの楽器音に変えることができます。

1 好きなソングを選んで、鳴らします。

2 好きな楽器音を選びます。

3 [楽器]ボタンを1秒以上押します。

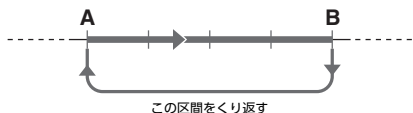
[SONG MELODY VOICE]と画面に表示されたあと、ソングのメロディー音色が手順2で選んだ楽器音に変わります。

NOTE

- 他のソングを選ぶことで、変更したメロディー音色はリセットされます。
- ユーザーソングのメロディー音色は変えられません。

ソングの一部をくり返して聞く (A-Bリピート)

ソングのある特定の範囲(A点とB点)を小節単位で指定して、くり返し再生できます。



- 1 ソング再生をスタートします(31ページ)。
- 2 ソングを再生しながら、くり返し再生の開始位置(A点)にしたいポイントに来たら、[A-B リピート]ボタンを押します。
- 3 くり返し再生の終了地点(B点)にしたいポイントに来たら、もう一度[A-B リピート]ボタンを押します。
これで、A-B間のくり返し再生(リピート再生)が始まります。



NOTE

- 停止中でも[早戻し]、[早送り]ボタンで小節を設定できます。
- くり返しの開始位置(A)を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に[A-B リピート]ボタンを押して設定します。

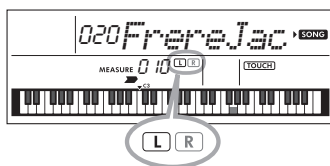
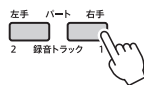
- 4 くり返し設定を取り消すには、[A-B リピート]ボタンを押します。
再生を停止するには、[スタート/ストップ]ボタンを押します。

NOTE

- 他のソングを選ぶと、くり返しはキャンセルされます。

各パートをオン/オフする

ソングデータ(ソング番号125~154除く)は2つのパートで構成されています。各パートは、ソング再生中に該当ボタンを押すことで、個別にオン/オフができます。



- ユーザーソング(番号155~159、43ページ)が選択されている場合

L、Rは演奏データがあると点灯し、演奏データがないか、オフのときに消灯します。

- ユーザーソング以外が選択されている場合

L、Rは演奏データの有無に関係なく常に点灯します。

左手および右手パートをオン/オフすることにより、ソングのパートを聞きながら、もう一方のオフのパートを練習することができます。

NOTE

- 他のソングを選ぶことで、パートオン/オフの状態はリセットされます。

コンピューターからソングを転送して鳴らす

コンピューターと楽器をUSBケーブルでつなぐと、コンピューター上のソングファイルを楽器に転送して、楽器で再生することができます。
詳しくは50ページの「コンピューターやスマートデバイスと使う」をご覧ください。

ソングを選んでレッスンしてみよう

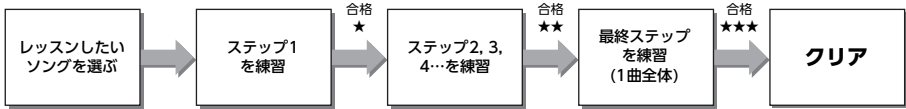
この楽器には、内蔵ソングを弾けるようになるためのさまざまなレッスン機能があります。ご自分に合ったレッスンを選んでみましょう。

付属のソングブックに内蔵ソングの楽譜がのっていますので、ぜひご活用ください。

ソングマスター

(35ページ)

弾けるようになるためのポイントを取り出して、ひとつずつ楽しく練習していきます。はじめて鍵盤に触れる方には、「ソングマスター」がおすすめです。



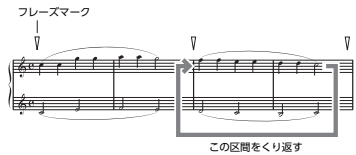
それぞれのソングは、あらかじめいくつかのステップで構成されています。1ステップ弾き終わるごとに採点され60点以上で合格、自動的に次のステップに進みます。

合格結果は、★で記録されますが、合格しなくても次のステップに進むことができ、あとで不合格だったステップを練習しなおすこともできます。

フレーズ練習

(37ページ)

もっとたくさんフレーズをまとめて練習したいとき、自分でフレーズを指定して繰り返し練習できます。ソングマスターで最終ステップの合格をめざすために使ったり、弾きにくいフレーズを練習したいときに便利です。



お手本、タイミング、マイペース

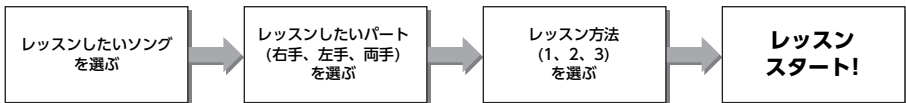
(38ページ)

練習したいソングを、右手、左手、両手別にレッスンができます。

レッスン方法は3段階です。

レッスンしたいパートを、1曲とおして練習したい方におすすめです。

- レッスン1(お手本)** まずは、お手本を聞くレッスンです。お手本を聞いて音を覚えましょう。
- レッスン2(タイミング)** タイミングを合わせて鍵盤を弾くレッスンです。タイミングが合っていれば、どの鍵盤を弾いても正しい音が鳴ります。
- レッスン3(マイペース)** 正しい鍵盤を弾きます。正しい鍵盤を弾くまで曲は進まず待っていてくれます。



お手本、タイミング、マイペースは、「ソングマスター」、「フレーズ練習」と一緒に使うことができます。

「ソングマスター」を練習していて難しいときは、お手本を聞いてみたり、タイミングだけを練習したり、正しい鍵盤を弾くまで曲が待ってくれるようにできます。

「ソングマスター」と一緒に使った場合は、合格結果は表示されません。

そのほかにも、音楽をもっと楽しむための、次のレッスンが用意されています。

- 鍵盤を弾く強さを練習する(タッチスタディ：40ページ)
強く強さを意識することで、より豊かな表現が可能になります。
- コード(和音)の響きを体感する(コードスタディ：41ページ)
スタイルを使いこなすために欠かせないコード(和音)の響きと押え方を体験できます。
- コード進行を体感する(コードプロGRESSION：42ページ)
コード進行の基本パターンを体験できます。音楽ジャンルにあったいくつかのパターンを覚えると、スタイルを曲のように自由に演奏できます。

ソングマスター

ソングマスターでは、曲をマスターするために必要なフレーズを練習します。大事なポイントだけを取り出してステップごとに練習するので、1曲を効率よく学べます。

1 付属のソングブックを準備します。

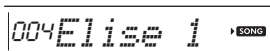
練習するパートは、ステップごとにあらかじめ指定されています。総ステップ数は曲によって異なります。詳しくはソングブックをご覧ください。

NOTE

- 001～003および103～154を除く内蔵ソング004～102はすべて練習に使えますが、特に004～019の「わくわくピアニスト」カテゴリの曲は、それぞれのステップが曲仕立てになっており、伴奏つきで楽しく練習できます。

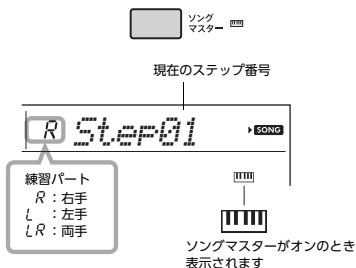
2 [ソング]ボタンを押して、レッスンしたいソングを選びます。

「わくわくピアニスト」から、004「エリーゼのために」(やさしい)を選んでみましょう。



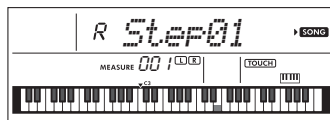
3 [ソングマスター]ボタンを押して、ソングマスターをオンにします。

鍵盤アイコン、「Step01」、およびレッスンパート(「R」、「L」または「LR」)が画面上に表示され、このレッスンを最初から始めることになります。もし、すでにくつかのステップを合格済みの場合は、その次のステップ番号が表示されます。



4 [スタート/ストップ]ボタンを押して、レッスンを始めます。

カウント音が「カッ、コッ、カ」と鳴ったら弾き始めの合図ですので、曲に合わせて一緒に弾きましょう。



NOTE

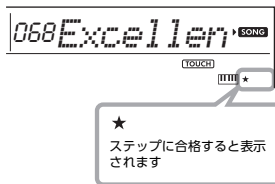
- 楽しくレッスンしていただくため、各ソングには特別なアレンジが施されています。このため、再生テンポが曲オリジナルよりも遅くなる場合があります。

5 現在選択されているステップのフレーズを練習します。

ソングブックの楽譜と画面上に表示された鍵盤表示を見ながら弾いてみましょう。

6 ステップの評価を確認します。

1ステップ弾き終わると、演奏が評価され、100点満点での点数が画面に表示されます。



0～59点のときは、同じステップに再挑戦です。自動的に同じステップが再生されます。60～100点のときは、合格です。次のステップに自動的に進みます。

NOTE

- 指定された練習パートが両手の場合、右手だけや左手だけでレッスンしても合格にはなりません。「Left Part is correct!」(左手パートは良く弾けました)などの評価のみが表示されます。

7 ステップ02、03、04・・・を実行します。

すべての曲に、1曲をとおして弾く仕上げのステップがあります。すべてのステップに合格するとソングマスターはオフになり、レッスンは終わります。

NOTE

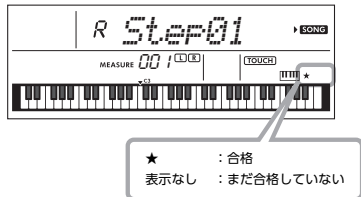
- レッスン中でも、ステップは[+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して先に進んだり、前に戻ることができます。

8 レッスン途中で止めるには、[ソングマスター]ボタンをもう一度押して、ソングマスターをオフにします。

合格結果を確認する

画面上の★を見れば、選んだステップやソングが合格済みかどうか、一目でわかります。

● ステップ選択時



● ソング選択時



合格結果を消去する

合格結果の記録は消去できます。

● **すべてのステップの合格結果を消去するには**
ソングマスターがオフの状態、記録を消したいソングを選び、[ソングマスター]ボタンを3秒以上押し、画面に「Cleared」と表示され、記録が消去されます。

● **特定のステップの合格結果を消去するには**
ソングを選んだ状態でソングマスターに入り、記録を消したいステップを選んだ状態で[ソングマスター]ボタンを3秒以上押し、画面に「Cleared」と表示され、記録が消去されます。

NOTE

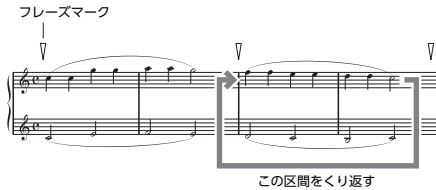
- 再生中は、合格結果の記録は消去できません。

フレーズ練習

内蔵ソングにはフレーズマークが入っているので(ソング番号001~003、103~154は除く)、練習したいフレーズだけくり返し再生させることができます。フレーズマークの位置は付属のソングブックで確認できます。

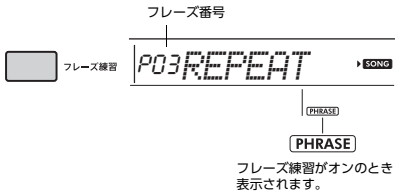
NOTE

- フレーズマークとは、ソングデータに設定されている、ソング中のある箇所を指定するデータです。



ひとつのフレーズを練習する

ソングを再生させ、くり返したいフレーズのところで[フレーズ練習]ボタンを押します。選んだフレーズ番号が画面に表示され、そのフレーズがくり返し再生されます。このとき自分の練習したいパートをオフにして(33ページ)おくと、オフにしたパートを自分で弾いて練習できます。



[+ / YES]、[- / NO]ボタンでフレーズ番号を移動できます。くり返しを解除するときは[フレーズ練習]ボタンをもう一度押します。

いくつかのフレーズをまとめて練習する

フレーズA、Bを設定することで、A~B間にあるフレーズをまとめてくり返し練習できます。まず、フレーズ練習中に[A-B リピート]ボタンを押すことで、現在のフレーズをフレーズAに設定します。ソングは次のフレーズへと再生されるので、リピートの終わりにしたいフレーズに来たら、再度[A-B リピート]ボタンを押してフレーズBとします。これにより、画面には「A-B Rep」と表示され、フレーズA~フレーズBがくり返し再生されます。リピート設定を解除するには、再度[A-B リピート]ボタンを押します。

NOTE

- フレーズA、Bをソング停止中に設定することもできます。この場合、フレーズは[+ / YES]、[- / NO]ボタンで選びます。
- フレーズAだけを指定すると、フレーズAから曲の最後までがくり返し再生されます。

お手本、タイミング、マイペース

●レッスン1 お手本を聞く(LISTENING)

レッスン1では鍵盤を弾く必要はありません。選んだパートのお手本メロディーが鳴るので、よく聞いて覚えましょう。

●レッスン2 タイミング(TIMING)

レッスン2では鍵盤を弾くタイミングを練習します。タイミングが合っていれば、どの鍵盤を弾いても、画面に表示される正しい音が鳴ります。

●レッスン3 マイペース(WAITING)

レッスン3では画面に表示される音を正しく弾けるよう練習します。正しい鍵盤が押さえられるまで、再生は進まず待ってくれ、再生テンポも弾く人のペースに合わせて変わってくれるので、マイペースで練習できます。

NOTE

- レッスン3「マイペース」で再生テンポを変化させたくないときは、機能設定ユアテンポ(54ページ 機能番号035)をOFFにします。

1 [ソング]ボタンを押して、レッスンしたいソングを選びます。

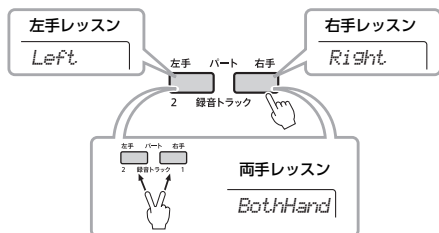
NOTE

- コンピューターから転送したソング(50ページ)はレッスンに使えますが、ユーザーソングはレッスンには使えません。

NOTE

- 125～154のソングは、レッスン機能のお手本、タイミング、マイペースには対応していません。

2 [右手]ボタン、[左手]ボタンのどちらか、または両方を押して練習したいパートを選びます。



NOTE

- この段階で、「No LPart」と表示された場合、左手パートを含まないソングを示しています。

3 [1 お手本 2 タイミング 3 マイペース]ボタンを押して、レッスン曲を再生します。

[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース]ボタンを押すたびに、レッスン番号は「1 お手本(LISTEN)」→「2 タイミング(TIMING)」→「3 マイペース(WAITING)」→「オフ」→「1 お手本(LISTEN)」…の順番で切り替わり、画面に表示されます。



NOTE

- レッスン中でも、[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース]ボタンを押して「1 お手本」、「2 タイミング」、「3 マイペース」を切り替えられます。また、[スタート/ストップ]ボタンでレッスンを止めることもできます。
- レッスン曲を再生すると、メインボイスは「000」(ワンタッチセッティング)(16ページ)に切り替わります。

4 レッスン曲の再生が終了すると、採点結果が表示されます。

[2 タイミング]、[3 マイペース]で、1曲レッスンを終了したとき、レッスン結果を採点します。

Excellent! ■■■■■■■■
 Very Good! ■■■■■■
 Good ■■■■■
 OK ■■

評価の表示後、ソングが最初から自動的にスタートし、再びレッスンを始めます。

NOTE

- 曲のメロディー音色を変えると、選んだ音色によっては画面に表示されている鍵盤の位置がオクターブ単位でずれることがあります。

NOTE

- レッスン中はデュアルボイスとスプリットボイスは使えません。

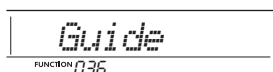
5 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ]ボタンを押すと、ソングがストップし、レッスンは終わります。

ガイド音をオフにする

この楽器には、「ガイド音」機能が搭載されています。レッスン3「マイペース」中、弾くべきタイミングに正しい鍵盤が押されないと、すこしあとに、正しい鍵盤が鳴ってガイドしてくれる機能です。正しく鍵盤を押すと、ガイド音は鳴らずに再生が進みます。ガイド音を鳴らしたくない場合は、次の手順でこの機能をオフにしてください。

- 1 [機能] ボタンを何度か押して、ガイドの項目 [Guide] (54ページ 機能番号036) を表示させます。



- 2 [+ / YES]、[- / NO] ボタンを押して、設定値に [oFF] を選びます。

初期設定値は「on」(ガイド音が鳴る)です。

NOTE

- レッスン中は設定できません。

ガイド音は、カテゴリー「スタイルのパレット」のソングの左手パートと、カテゴリー「コードプロレクション」のソング、79番のソングを除く内蔵ソングすべてで使えます。

ソングマスターとお手本/タイミング/マイペースを組み合わせる

38ページの「1 お手本」、[2 タイミング]、[3 マイペース] とソングマスター (35ページ) と組み合わせてレッスンができます。

- 1 ソングマスターをオンにします。
35ページの操作1～3をご覧ください。
- 2 [+ / YES]、[- / NO] ボタンで好きなステップを選び、[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース] ボタンを何度か押して、レッスンを選びます。
レッスンの再生が始まります。ソングマスターで選んだステップのフレーズを、選択したレッスン方式で練習しましょう。各ステップの評価として、「[Timing is correct!]」や「[Your playing is correct!]」は画面に表示されますが、合格結果は表示されません。
- 3 お手本、タイミング、マイペースをオフにしてソングマスターだけの状態に戻するには、[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース] ボタンを何度か押して、画面に「[Stepxx] (xxはステップ番号)」を表示させます。

- 4 レッスを終了するには[ソングマスター] ボタンを押します。

フレーズ練習とお手本/タイミング/マイペースを組み合わせる

フレーズ練習がオンの状態で[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース] ボタンを1～3回押すと、現在選択されているフレーズをそれぞれのレッスンで練習できます。再度[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース]を何回か押してレッスンを抜けると、再生が止まり、フレーズ練習だけがオンの状態に戻ります。

NOTE

- 組み合わせてレッスンした場合、採点結果は表示されません。

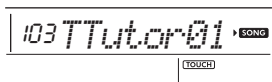
鍵盤を弾く強さを意識しよう(タッチスタディ)

カテゴリー「タッチスタディ」にあるソング103～112を再生することにより、演奏時に大切な、弾く強さ(タッチ)を意識する練習ができます。曲の再生にしたがって、強弱の目安が画面に表示されますので、表示に合わせて弾きましょう。

NOTE

- 「タッチレスポンス」(18ページ)はFixed以外に設定しておいてください。タッチレスポンスがFixedに設定されていると、タッチスタディ機能が使えません。

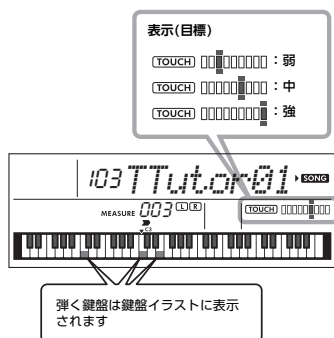
1 31ページ「ソングを選んで聞く」の手順1の操作で、カテゴリー「タッチスタディ」にあるソング103～112の中からソングを選択します。このときワンタッチセッティング(16ページ)にしておく、ソングに合う楽器音で練習できます。そのあと[ソング]ボタンを押して、ソング画面に戻っておきましょう。



2 [スタート/ストップ]ボタンを押して、選択したソングを再生します。

3 画面に下記の表示が出たら、表示された強さで弾きましょう。

表示が出ているあいだ弾き続けます。画面に表示された鍵盤を弾きましょう。

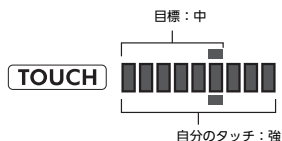


強さの目標は「■」で表示されます。自分の弾いた強さは「■」で表示されます。上記の表示(目標)に対して、下記の表示になるよう弾きましょう。

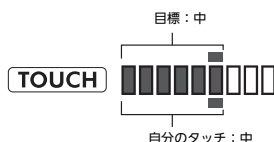
- TOUCH ■■■■■■■■■■ : 弱
- TOUCH ■■■■■■■■■■ : 中
- TOUCH ■■■■■■■■■■ : 強

タッチが弱すぎたり強すぎたりする場合は、「■」と「■」の位置がずれて表示されます。

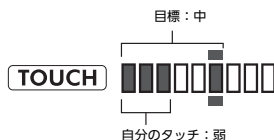
目標よりタッチが強い(目標：中、自分のタッチ：強)



目標とタッチが同じ(目標：中、自分のタッチ：中)



目標よりタッチが弱い(目標：中、自分のタッチ：弱)



押鍵が正確だったときは、楽器が押鍵の正確さを評価し、以下のような評価結果を画面に表示します。正確な押鍵が続くと、評価が徐々に上がります。不正確な押鍵が続くと、評価が徐々に下がります。

Great!
VeryGood
Good
OK

4 再生をストップしたいときは、[スタート/ストップ]ボタンを押します。

タッチスタディ機能から抜けたいときは、タッチスタディ以外のカテゴリーのソングを選びます。

NOTE

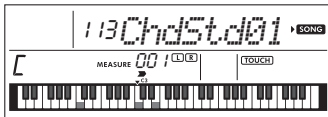
- ソングマスターとは併用できません。

コードの響きを体感しよう(コードスタディ)

カテゴリー「コードスタディ」にあるソング113～124を再生することにより、演奏に必要なコードの体感ができます。ソング113～119では、それぞれ単一のコード(C, Dm, Em, F, G, Am, Bm)で曲が構成されており、コードをひとつずつ体感できます。ソング120～124では、それぞれいくつかのコードで曲が構成されており、簡単なコード進行を体感できます。これらのソングを再生し、画面の鍵盤表示を見ながら鍵盤を押さえることで、コードの響きを体感しましょう。

コードをひとつずつ体感する

- 1 31ページ「ソングを選んで聞く」の手順1の操作で、カテゴリー「コードスタディ」にあるソング113～119の中からソングを選択します。
- 2 [スタート/ストップ]ボタンを押して、選択したソングを再生します。
- 3 画面に表示された鍵盤を押さえます。コードの響きをひとつずつ体感しましょう。



「コードスタディ」を練習していて難しいときはマイペース機能(38ページ)を活用してみましょう。正しい鍵盤を弾くまで曲が待ってくれるようにできます。[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース]ボタンを何度か押して、画面に「WAITING」を表示させます。マイペースを解除するときは、同じボタンをもう一度押します。

- 4 再生をストップしたいときは、[スタート/ストップ]ボタンを押します。

コード進行を体感する

- 1 [+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して、ソング番号120～124の中からソングを選択します。
- 2 [スタート/ストップ]ボタンを押して、選択したソングを再生します。
- 3 画面に表示された鍵盤を押さえます。簡単なコード進行を体感しましょう。またコードの変更がスムーズにできるようになるまで、くり返し鍵盤を押さえてみましょう。

「コードスタディ」を練習していて難しいときはマイペース機能(38ページ)を活用してみましょう。正しい鍵盤を弾くまで曲が待ってくれるようにできます。[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース]ボタンを何度か押して、画面に「WAITING」を表示させます。マイペースを解除するときは、同じボタンをもう一度押します。

- 4 再生をストップしたいときは、[スタート/ストップ]ボタンを押します。

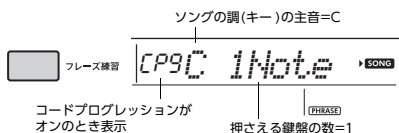
ソングのコード進行に合わせてコードを弾いてみよう (コードプログレッション)

カテゴリー「コードプログレッション」にあるソング125～154では、典型的なコード進行で曲が構成されています。ソングを再生し、画面の鍵盤表示を見ながら鍵盤を押さえることで、コード進行を体感できます。またコードを段階的に覚えられるよう、押さえる鍵盤の数をルート音だけの1音から、2音、3音、4音と増やしていく流れになっています。さらに、ソングの調(キー)を変更することもできます。

1 31ページ「ソングを選んで聞く」の手順1の操作でカテゴリー「コードプログレッション」にあるソング125～154の中からソングを選択します。

2 [フレーズ練習]ボタンを押します。

画面に「CHORD PROGRESSION」のスクロール表示がされたあとに、選んだソングの調(キー)の主音と押さえる鍵盤の数が表示されます。



NOTE

- 初期設定の調(キー)は、ハ長調(Cメジャー)またはイ短調(Aマイナー)になっています。

3 [+ / YES]、[- / NO]ボタンを押して、押さえる鍵盤の数を増減します。

[+ / YES]ボタンを押すたびに、押さえる鍵盤の数が、ルート音だけの1音(1Note)から、2音(2Notes)、3音(3Notes)、4音(All)と増えます。[- / NO]ボタンを押すと、押さえる鍵盤の数は減ります。



NOTE

- 押さえる鍵盤の数は数字ボタン[1]～[4]でも設定できます。

4 [スタート/ストップ]ボタンを押して、選択したソングを再生します。

5 画面に表示された鍵盤を弾いてみましょう。



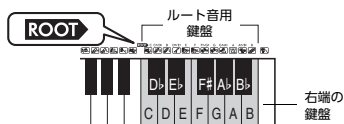
NOTE

- ソングの調(キー)変更用の鍵盤の範囲(84 : C5～95 : B5)は、弾いても発音しません。

6 もう一度[フレーズ練習]ボタンを押すと、コードプログレッション機能がオフになります。

ソングの調(キー)を変更するには

「ROOT」マークから右側にある鍵盤(84 : C5)～(95 : B5)のいずれかを押して、調(キー)の主音を変更します。



たとえば調(キー)がハ長調(Cメジャー)のソングで、鍵盤(86 : D5)を押すと、調(キー)が二長調(Dメジャー)に変更されます。

NOTE

- ソングの調(キー)は、再生中には変更できません。

コードを押さえる鍵盤の数

- ルート音だけの1音(1Note)**
コードのルート音だけを押しします。
- 2音(2Notes)**
ルート音に加えて、コードの第3音と一緒に押すことで、メジャーコードとマイナーコードの区別がつかます。
- 3音(3Notes)**
2音に加えて、コードの第5音も一緒に押しします。
- 4音(All)**
コードの構成音をすべて押しします。3音まででコードはほぼ成立していますが、7th(セブンス)などの3音以外の音を追加します。なお、コードによっては4音めがない場合もあります。

レッスン機能のマイペースと組み合わせて演奏する

[1 お手本 2 タイミング 3 マイペース]ボタンを一回押すだけで、レッスン機能のマイペース(38ページ)と組み合わせて練習できます。

NOTE

- ソングの調(キー)変更用の鍵盤の範囲(84 : C5～95 : B5)を除く、画面に表示された音と違うオクターブの音や違う転回形の音を弾いても再生は進みます。

自分の演奏を録音しよう

自分の演奏を、ユーザーソング(User 1~5:ソング番号155~159)として5曲まで録音できます。録音されたユーザーソングは、内蔵ソングと同様に再生できます。

ソングのトラック構成

ユーザーソングはトラック1とトラック2からできています。このトラックを指定して別々に録音できます。

●トラック1

このトラックにはメロディーの演奏を録音できます。

●トラック2

このトラックにはメロディーの演奏またはスタイル再生(コードの変更とセクションの変更)を録音できます。



録音容量: ユーザーソング5曲で、約10,000の音符数が録音できます。

録音する

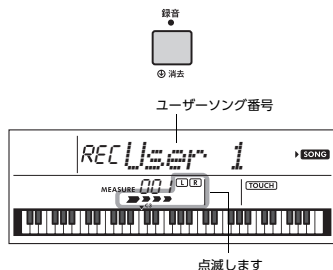
トラックを指定せずに手軽に録音する方法です。

1 音色やスタイルの設定を好みの設定にします。

メロディー演奏だけ録音するには、[スタイル オン/オフ]ボタンを押してスタイルをオフにします。リズム再生やスタイル再生も一緒に録音するには、スタイルをオン(24ページ)にします。

2 [録音]ボタンを押して録音待機に入ります。

ユーザーソングが選ばれていないか、スタイルモードから録音待機に移ったときは、まだ録音されていない、一番若い番号のユーザーソングが表示されます。ユーザーソングを指定して録音したい場合は、[+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して、ユーザーソング番号を指定します。



録音待機を抜けるには、[録音]ボタンをもう一度押し、画面の点滅を止めます。

注記

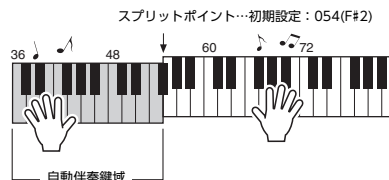
- ユーザーソングがすべて録音済みの場合、User 1(ソング番号155)が自動的に選ばれます。この場合の録音は上書き録音(すでに録音しているトラックのデータを消して新しく録音する)になりますので、大切なデータはコンピュータに保存しておきましょう。(51ページ参照)

NOTE

- [録音]ボタンを押したあとは、スタイルのオン/オフはできませんが、[スタート]ボタンと数字ボタンでスタイル番号を選べます。

3 鍵盤を押さえると同時に録音が始まります。

リズムだけを録音したいときは、[スタート/ストップ]ボタンを押して、セクション(25ページ)を切り替えることで、リズムパートだけを録音できます。



4 [スタート/ストップ]ボタンを押して、録音を終了します。

スタイルを使っている場合は、[イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押すと、エンディングを再生して録音を終了されます。

注記

- 録音終了後、画面に「Writing!」表示されている間は、電源を切ったり、電源アダプターを抜き差ししないでください。データが失われます。

5 [スタート/ストップ]ボタンを押して、録音した曲を再生します。

録音中の制限事項

- リバーブレベル、メトロノーム音、トランスポーズ、チューニングは録音できません。
- 以下の設定やボタンは録音中は変更できないか、変更できても録音されません。
 - スタイル オン/オフ、スプリットポイント、リバーブタイプ、コーラスタイプ、ハーモニー/アルペジオタイプ、
 - [機能]ボタン、[グランドピアノ]ボタン
- DSP効果は、トラック1にしか録音できません。

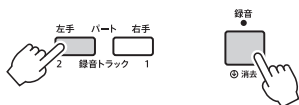
トラックごとに録音する

1 楽器音やスタイルの設定を好みの設定にします。

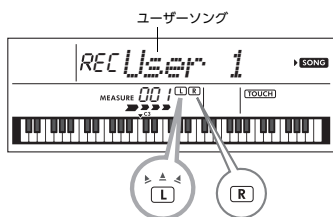
メロディーの演奏だけを録音したい場合は、スタイルをオフ(24ページ)にします。スタイルを使った演奏を録音したい場合は、スタイルをオン(24ページ)にします。

2 [録音]ボタンを押しながら[録音トラック 1]または[録音トラック 2]ボタンを押して録音待機に入ります。

スタイルを録音したいときはトラック2を指定してください。メロディーの演奏を録音したいときは、どちらのトラックを指定してもかまいません。下記のイラストはトラック2を選んだときの例です。



ユーザーソングが表示されます。



L(トラック2)、R(トラック1)は録音データがあると点灯し、録音データがないと消灯します。ただし、録音データがあっても、消音されていると消灯します。また、録音トラックに選ばれていると点滅します。

例えば録音先としてトラック2が選ばれていて、トラック1にすでに録音データがあるときは画面上でLが点滅し、Rが点灯します。録音データがないトラックに録音中に、[録音トラック 1]ボタンでRの画面表示をオンまたはオフにして、録音データがあるトラックを聞くか聞かないかを決めます。

3 [+ / YES]、[- / NO]ボタンを押して録音したいユーザーソングの番号を選びます。

4 43ページ「録音する」の3~5の操作と同じです。

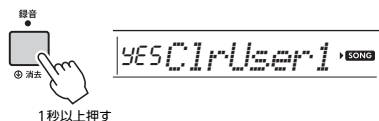
再生時に[録音トラック 1]または[録音トラック 2]ボタンを押すと、録音トラック 1または録音トラック 2を消音することができます。ボタンを押すたびに、再生/消音切り替わりします。

ユーザーソングを消去する

1 [ソング]ボタンを押してから、数字ボタンを押して消去したいユーザーソングの番号を選びます。

2 [録音]ボタンを1秒以上押しします。

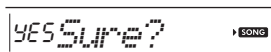
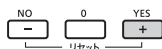
ソングを消去してよいか確認するメッセージが表示されます。



ソングの消去をキャンセルする場合は、[- / NO]ボタンを押します。

3 [+ / YES]ボタンを押します。

ソングを消去してよいか再確認するメッセージが表示されます。



ソングの消去をキャンセルする場合は、[- / NO]ボタンを押します。

4 [+ / YES]ボタンを押してソングを消去します。消去中の画面が表示され、ソングが消去されます。

好みのパネル設定を記憶させよう

この楽器には、記憶させたお気に入りの設定をいつでも簡単に呼び出すことができるレジストレーションメモリーという機能があります。設定内容は9種類まで本体に記憶させ、数字ボタンに1～9まで割り当てることができます。(お買い上げ時に、1～9には設定が記録されています。)

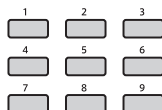
記録したパネル設定を呼び出す

- 1 [レジストレーションメモリー]ボタンを押します。画面に「LoadNo.？」が表示されます。



- 2 数字ボタンのいずれかを押して、記録したパネル設定を呼び出します。

呼び出したレジストレーションメモリーの番号とレジストレーションメモリーに保存された楽器名が表示されます。



レジストレーションメモリー番号 レジストレーションメモリー内の楽器名

他の数字ボタンを押すことで、レジストレーションメモリーの番号を切り替えることができます。呼び出しを終了させるには、[レジストレーションメモリー]ボタンを押します。

お買い上げ時のレジストレーションメモリーの内容

レジストレーションメモリー番号	レジストレーションメモリーに保存された楽器名
R01	S.Art Lite Nylon Guitar Harmonics
R02	S.Art Lite Steel Guitar Harmonics
R03	S.Art Lite Distortion Guitar
R04	S.Art Lite Slap Bass
R05	S.Art Lite Strings
R06	S.Art Lite Gospel Choir
R07	S.Art Lite Tenor Sax
R08	S.Art Lite Brass Section
R09	S.Art Lite Flute

レジストレーションメモリーに記録されている設定内容

●**スタイル設定***: スタイル番号、スタイル オン/オフ、スタイル音量、テンポ、メインA/B、フィンガリングタイプ、スマートコードキー

●**楽器音**

- ・メインボイス: 楽器番号、機能設定の全項目
- ・デュアルボイス: オン/オフ、機能設定の全項目
- ・スプリットボイス: オン/オフ、機能設定の全項目

●**エフェクト**: リバーブタイプ、リバーブレベル、コーラスタイプ、DSP オン/オフ、DSPタイプ、サステイン オン/オフ

●**ハーモニー /アルペジオ**: オン/オフ、機能設定の全項目

●**その他**: トランスポーズ、スプリットポイント、DUOに關する機能設定の全項目、ペダルファンクション

* ソングを選んでいる状態では、スタイル設定は記録/呼び出しできません。

パネル設定をレジストレーションメモリーに記録する

1 パネル設定(楽器音、スタイルなど)を、記録させたい状態にします。

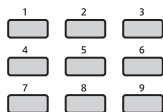
2 [レジストレーションメモリー]ボタンを1秒以上押しします。

画面に「MemNo.？」が表示されます。



3 数字ボタンのいずれかを押して、現在の設定を記録します。

すでにデータが記録されているレジストレーションメモリーを選択すると、画面に「Overwr?」と表示されますので、上書きする場合は、[+ /YES]ボタンを押します。キャンセルする場合は、[- /NO]ボタンを押します。



記録が完了すると、「Mem OK」と表示されます。

注記

- すでにデータが記録されているレジストレーションメモリーを選択すると、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。
- レジストレーションメモリーをお買い上げ時の内容に戻すには、バックアップクリアを行なう必要があります。(51ページ)
- 書き込み中の表示をしている間は電源を切らないでください。データが壊れるおそれがあります。

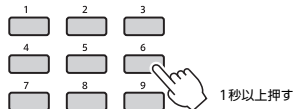
レジストレーションメモリーを削除する

1 [レジストレーションメモリー]ボタンを1秒以上押しします。

画面に「MemNo.？」が表示されます。



2 削除したいレジストレーションメモリー番号に対応した数字ボタンを1秒以上押しします。



画面に「ClrRegX?」(「X」は選択したレジストレーションメモリー番号)が表示されます。

3 [+ /YES]ボタンを押して、削除します。

削除を中止する場合は、[- /NO]ボタンを押します。削除すると、画面のレジストレーションメモリーの番号が消えます。



登録した設定のうち呼び出したい項目を指定する(フリーズ)

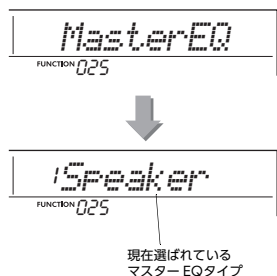
レジストレーションメモリーにはさまざまな設定を登録できますが、演奏の場面によって呼び出したい設定があるかもしれません。たとえば、同じスタイルを鳴らしたまま、楽器音(ボイス)の設定だけを切り替えたいときなどです。このような場合に、フリーズ機能を使えば、レジストレーションメモリーのボタンを押しても、スタイル関連の設定は呼び出さず現状のまま固定(フリーズ)できます。機能設定(54ページ 機能番号045、046、047)で設定してください。

マスターEQを設定して好みの音にしよう

本体スピーカーやヘッドホン、外部スピーカーなどで鳴らすサウンドを、好みの音に設定します。

- 1 [機能]ボタンを何度か押してマスターEQの項目「MasterEQ」(53ページ 機能番号025)を表示させます。

「MasterEQ」が数秒表示されたあと、現在のマスターEQタイプが表示されます。



現在選ばれている
マスターEQタイプ

- 2 [+ / YES]、[- / NO]ボタンを何度か押して、マスターEQタイプを選びます。

マスターEQタイプ

1	Speaker	楽器内部のスピーカーを使ってそのまま聞く場合を選びます。
2	Headphone	ヘッドホンや外部スピーカーに接続して聞く場合を選びます。
3	Boost	より迫力のある音質が得られます。ただし、選択する音色やスタイルなどの種類によっては他のEQ設定より、音がひずみやすくなります。
4	Piano	ピアノソロ演奏に適したセッティングです。
5	Bright	中音域を抑えて音の印象を明るくします。
6	Mild	高音域を抑えて音の印象を柔らかくします。

オーディオ機器の音をこの楽器で鳴らそう

⚠ 注意

- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量を最小にしてください。感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

スマートフォン等のオーディオ機器を楽器本体に接続すれば、再生音を本体スピーカーで鳴らし、再生に合わせて鍵盤を弾くことができます。

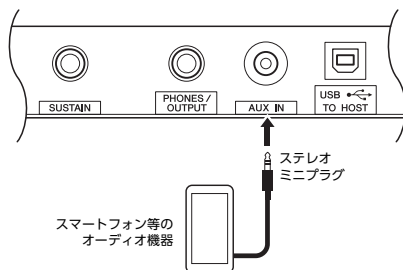
注記

- 楽器および外部機器の損傷を防ぐため、電源を入れるときは、外部機器→この楽器の順に、電源を切るときは、この楽器→外部機器の順に行なってください。

1 オーディオ機器および楽器本体の電源をオフにします。

2 オーディオ機器を楽器本体の[AUX IN]端子に接続します。

片側がステレオミニプラグ、もう片方はオーディオ機器の出力端子に接続できるプラグを持つオーディオケーブル(抵抗なし)をお使いください。



NOTE

- コンピューターやiPhone/iPadなどのスマートデバイスをお使いの場合は、[USB TO HOST]端子に接続することもできます(50ページ)。

3 オーディオ機器、楽器本体の順に電源を入れます。

4 オーディオ機器を再生します。

オーディオ機器の再生音が楽器本体のスピーカーで鳴ります。

5 オーディオ機器と楽器本体の音量バランスを調整します。

オーディオ機器でオーディオ再生音の音量を調整し、楽器本体の[全体音量]ダイヤルで全体音量を調節します。

NOTE

- 機能設定(54ページ 機能番号040)で「AuxInVol」を呼び出し、[+/YES]、[-/NO]ボタンや数字ボタンで、オーディオ機器から入力された音声の音量を調整できます。

6 オーディオ再生音に合わせて鍵盤を弾いてみましょう。

オーディオ再生音のメロディー部分をキャンセル(小さく)できます。49ページをご覧ください。

7 演奏が終わったら、オーディオ機器での再生を停止します。

メロディーパートの音を小さくする(メロディーキャンセル機能)

[AUX IN]端子や[USB TO HOST]端子に接続した外部オーディオ機器やコンピューターでのオーディオ再生音をこの楽器で鳴らしている場合、メロディーパートの音をキャンセル(小さくする)できます。メロディーパートを鍵盤で演奏したいときなどに便利な機能です。

- 1 接続した外部機器で、オーディオ再生をスタートします。
- 2 [機能]ボタンを1秒以上押して、メロディーキャンセル機能呼び出します。



- 3 [+ / YES]ボタンを押して、「on」を選びます。

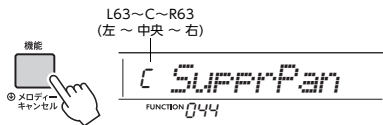
NOTE

- [USB TO HOST]端子に接続してオーディオ再生音を鳴らす場合、機能設定(54ページ、機能番号042)ループバックがオフのときは、メロディーキャンセル機能は使えません。

- 4 メロディーキャンセル機能をオフにするには、手順2、3で [MelodySP] (54ページ 機能番号043)を「off」にします。

メロディーの音が消えにくい(小さくならない)ときは

- 1 メロディーキャンセル機能がオンの状態で、[機能]ボタンを何度か押して [SupprPan] (54ページ 機能番号044)を表示させます。



- 2 [+ / YES]、[- / NO]ボタンを押してキャンセルされる(小さくなる)音の定位を調整します。

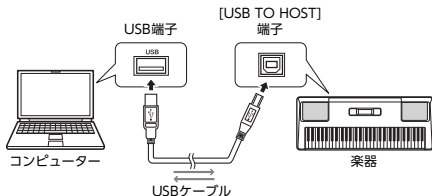
NOTE

- メロディーキャンセル機能をオンにしても、楽曲によってはメロディーの音が消えにくいことがあります。

コンピューターやスマートデバイスと使う

コンピューターに接続する

USBケーブルを使って楽器の[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続すると、両者の間で以下のことができます。



- 機能設定ストレージモード(55ページ 機能番号056)がオンのとき
 - ・ファイル転送(ソング、スタイル、バックアップ)
- ストレージモードがオフのとき
 - ・MIDIによる演奏データ通信
 - ・USBオーディオ通信

USBケーブルを接続するだけでコンピューターは楽器を認識します。ただし、オーディオ通信のためには、専用ドライバーのインストールが必要です。詳細は「コンピューターとつなぐ」(2ページ)をご覧ください。

NOTE

- ・全体音量ダイヤルでは、USBオーディオ通信の音量は調節できません。
- ・ストレージモードをオンにしている間は、楽器を演奏することができなくなります。コンピューターとの間でファイルを転送するときのみ、オンにしてください。
- ・ストレージモードがオフのとき、鍵盤演奏だけでなく自動演奏(スタイルおよびユーザーソング)の演奏データもコンピューターへMIDI送信されます。
- ・DAW(Digital Audio Workstation)などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用する場合は、機能設定ループバック(54ページ 機能番号042)をオフにしてください。オンにして使用すると、オーディオデータと楽器の音がミックスされたものがDAWへ送られ、ハウリングや異音が発生することがあります。

ストレージモードがオンのときのファイル転送

●操作方法

コンピューター上で操作します。詳細は「コンピューターとつなぐ」(2ページ)をご覧ください。

●転送できるファイル

- ・ソングファイル(拡張子:.MID)
他の楽器やコンピューターで作ったソングファイルをこの楽器に転送できます。なお、この楽器で作ったユーザーソングを単独のファイルとしてコンピューターに転送することはできません。
- ・スタイルファイル(拡張子:.STY)
この楽器にはスタイルファイルを作る機能はありませんが、他の機器で作ったスタイルファイルを持ち込むことはできます。1ファイルあたりの容量上限は50KBです。上限を超えたファイルは楽器上で認識されません。
- ・バックアップファイル(拡張子:.BUP)
 - ・51ページ「随時バックアップされる内容」(「電源を切ったときにバックアップされる内容」(「ソングマスターの合格結果」を含みます)のデータを、1つのバックアップファイルとしてコンピューターに転送し保存できます。

NOTE

- ・この楽器に転送できるファイルは、合計約1.4 MB以内です。
- ・この楽器にスタイルファイルを転送した場合、楽器上で使うためには「登録」の作業が必要です。詳細は「スタイルファイルの登録」(29ページ)をご覧ください。
- ・楽器に転送されたファイルは、楽器内ではファイル名で、記号>数字>アルファベット順に並びます。

スマートデバイスに接続する

iPhoneやiPadなどのスマートデバイスのアプリケーションと楽器と一緒に使えば、さまざまな楽しい機能が使えるようになり、可能性が広がります。

接続方法については、2ページの電子マニュアル「スマートデバイス接続マニュアル」をご覧ください。対応のスマートデバイスやアプリケーションに関する情報は、下記のウェブサイトでご確認ください。

<https://jp.yamaha.com/kbdapps/>

NOTE

- ・DAW(Digital Audio Workstation)などの音楽制作アプリケーションと一緒に使用する場合は、機能設定ループバック(54ページ 機能番号042)をオフにしてください。オンにして使用すると、オーディオデータと楽器の音がミックスされたものがDAWへ送られ、ハウリングや異音が発生することがあります。

バックアップと初期化

注記

バックアップは電源を切るときに自動的に実行されますが、下記の場合で電源が切れたときは、バックアップが実行されませんのでご注意ください。

- 電源が入っている状態で、電源アダプターを抜いたとき
- 停電などで突然電源が切れたとき
- 電池を使用していて、消耗して電源が切れたとき

バックアップデータ

以下のデータは自動的にバックアップされるため、電源を切ってもデータは消えません。

随時バックアップされる内容

- ユーザーソング(43ページ)
- スタイル番号206～215に登録されたスタイルファイル(29ページ)

電源を切ったときにバックアップされる内容

- レジストレーションメモリー (45ページ)
- 機能設定の各設定：(52ページ)
 - チューニング、スプリットポイント、タッチレスポンス、スタイル音量、ソング音量、メトロノーム音量、ユアテンポ、デモグループ、デモ再生モード、マスターEQタイプ、サステイン、オートパワーオフ、パッテリ-選択、ガイド音、ループバック、フィンガリングタイプ、[AUX IN]オーディオ入力音量、[USB TO HOST]オーディオ入力音量、スタイルフリーズ、トランスポートフリーズ、ボイスフリーズ
- ソングマスターの合格結果(36ページ)

上記のバックアップデータに加え、コンピューターから転送した全スタイルデータ(登録されていないものも含む)と全ソングデータは、電源をオフにしても消えずに楽器本体内に保存されます。

「随時バックアップされる内容」、「電源を切ったときにバックアップされる内容」(「ソングマスターの合格結果」を含まず)のデータをまとめて1つのバックアップファイル(拡張子:.BUP)としてコンピューターに転送して保存できます。保存したバックアップファイルは、また楽器に戻して設定やデータを再現できます。詳しい操作手順は、2ページの電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。

バックアップ操作時のエラー

機能設定ストレージモード(55ページ 機能番号056)をオンにしてコンピューターと接続したときに、楽器の空き容量が足りず、転送用のバックアップファイルが作成されないことがあります。その場合は、画面にメッセージ「Not enough storage for backup」がスクロール表示されます。

バックアップファイルをコンピューターに保存したい場合は、楽器の不要なソングファイルやスタイルファイルを削除して、空き容量を確保し、ストレージモードを一度オフしてから、再度オンにしてください。バックアップファイルが作成されます。

バックアップファイルをコンピューターに保存しない場合は、メッセージが表示されても問題ありません。メッセージを無視してください。

NOTE


- バックアップファイルの容量は、本体に保存されたデータ量に応じて変わります。最大の容量は、約620KBです。
- 転送用のバックアップファイルが作成されない状態でも、楽器内ではバックアップデータは保持されています。

初期化

目的に応じて、次の2つの方法で初期化ができます。


バックアップクリア

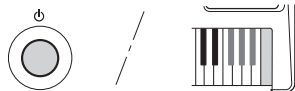
バックアップデータとレジストレーションメモリーを初期状態に戻します。

最高音の鍵盤(白鍵)を押しながら[](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



フラッシュクリア

コンピューターから転送したソング/スタイルの全データが消去されます。ただし、スタイル番号206～215に登録されたデータは消去されません。最高音の鍵盤(白鍵)と一番高い黒鍵3つを同時に押しながら[](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



注記

- バックアップクリアやフラッシュクリアで初期化すると、購入した有料のデータも消去されます。消去したくないデータは、必要に応じてコンピューターに転送/保存しておきましょう。

機能設定

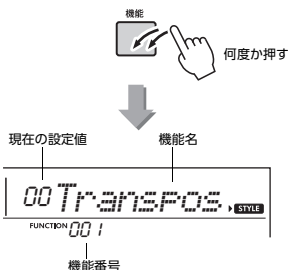
チューニングやスプリットポイント、各楽器音やエフェクトなどの細かな設定をするのが機能設定です。

1 設定したい項目の画面表示が出るまで、[機能] ボタンを何度か押します。

[機能] ボタンを押すたびに、機能番号がひとつずつ大きな番号になります。

[機能] ボタンを押しながら、[-/NO] ボタンを押すと機能番号をひとつつ小さな番号に戻すことができます。

[+/YES]、[-/NO] ボタンだけを押しでも、機能番号は変わりません。

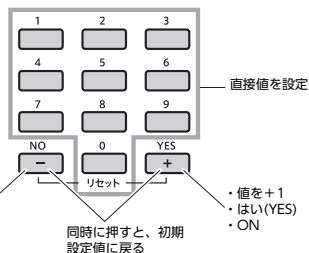


項目によっては、選択された機能名が数秒表示されたあと、現在の設定値が表示されます。

NOTE

- ソング、スタイル、メトロノーム再生中は、機能番号は表示されません。拍数が表示されます。

2 数字ボタンや、[+/YES]、[-/NO] ボタンを押して、値を設定します。



3 機能設定を終了するには、[楽器]、[ソング]、[スタイル] ボタンのいずれかを押します。

機能リスト

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定	内容
楽器全体					
001	トランスポーズ	TransPos	-12~12	00	鍵盤の音高を半音単位で設定します。
002	チューニング	Tuning	427.0Hz~453.0Hz	440.0Hz	楽器全体のチューニング(音の高さの微調整)を設定します。(約0.2Hz単位)
003	スプリットポイント	SplitPnt	036~096 (C1~C6)	54 (F#2)	スプリットボイスとメインボイスが鳴る鍵域の境目を設定します。(17ページ) 自動伴奏のスプリットポイントにもこの設定が適用されます。(24ページ)
004	タッチレスポンス	TouchRes	1 (Soft) 2 (Medium) 3 (Hard) 4 (Fixed)	2 (Medium)	18ページをご覧ください。
メインボイス(16ページ)					
005	音量	M. Volume	000~127	*	ソングやスタイルに合わせて演奏するときの、手弾き音の音量を調節します。
006	オクターブ	M. Octave	-2~+2	*	メインボイスの音程をオクターブ単位で設定します。
007	コーラスレベル	M. Chorus	000~127	*	メインボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
デュアルボイス(17ページ)					
008	ボイス	D. Voice	001~622	*	デュアルボイスを選択します。
009	音量	D. Volume	000~127	*	デュアルボイスの音量を設定します。
010	オクターブ	D. Octave	-2~+2	*	デュアルボイスのオクターブを設定します。
011	コーラスレベル	D. Chorus	000~127	*	デュアルボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定	内容
スプリットボイス(17ページ)					
012	ボイス	<i>S.Voice</i>	001~622	*	スプリットボイスを選択します。
013	音量	<i>S.Volume</i>	000~127	*	スプリットボイスの音量を設定します。
014	オクターブ	<i>S.Octave</i>	-2~+2	*	スプリットボイスのオクターブを設定します。
015	コーラスレベル	<i>S.Chorus</i>	000~127	*	スプリットボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
スタイル(23ページ)					
016	スタイル音量	<i>StyleVol</i>	000~127	100	スタイル選択時にスタイルの再生音量を設定します。(24ページ)
017	フィンガリングタイプ	<i>FingType</i>	1 (SmartChord) 2 (Multi)	1 (SmartChord)	スタイル演奏時に、自動伴奏領域で弾くコード(和音)の弾き方を設定します。
018	スマートコードキー	<i>S.ChdKey</i>	FL7(フラット7個) ~SP0(調号なし) ~SP7(シャープ7個)	SP0 (調号なし)	スタイル演奏時、「スマートコード」でコードを弾くときの調を設定します。たとえば、弾きたい曲の楽譜にシャープが2つあるときは、「SP2」と画面に表示されるまで[+/YES]、[-/NO]ボタンを押します。
ソング(31ページ)					
019	ソング音量	<i>SongVol</i>	000~127	100	ソング選択時にソングの再生音量を設定します。(31ページ)
エフェクト					
020	リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	1~4 (Hall 1~4) 5 (Cathedral) 6~8 (Room 1~3) 9~10 (Stage 1~2) 11~12 (Plate 1~2) 13 (Off)	**	リバーブタイプ(72ページ)を選択します。
021	リバーブレベル	<i>RevLevel</i>	000~127	64	リバーブのかかり具合を設定します。
022	コーラスタイプ	<i>Chorus</i>	1 (Chorus1) 2 (Chorus2) 3 (Chorus3) 4 (Flanger1) 5 (Flanger2) 6 (Off)	**	コーラスタイプ(72ページ)を選択します。
023	DSPタイプ	<i>DSPType</i>	01~38	*	DSPタイプ(72ページ)を選択します。
024	サステイン	<i>Sustain</i>	ON/OFF	OFF	この楽器のサステイン機能を有効にする(ON)か無効にする(OFF)かを設定します。(19ページ)
025	マスターEQタイプ	<i>MasterEQ</i>	1 (Speaker) 2 (Headphone) 3 (Boost) 4 (Piano) 5 (Bright) 6 (Mild)	1 (Speaker)	スピーカーやヘッドホンから出力されるサウンドを、楽器の置かれている環境に応じてもっとも聞きやすい音に設定します。(47ページ)
ハーモニー/アルペジオ(20ページ)					
026	ハーモニー/アルペジオタイプ	<i>Harm/Arp</i>	001~026 (Harmony) 027~176 (Arpeggio)	*	ハーモニー/アルペジオタイプを選択します。
027	ハーモニー音量	<i>HarmVol</i>	000~127	*	ハーモニー音量を設定します。
028	アルペジオペロシティー	<i>ArpUelo</i>	1 (Original) 2 (Key)	**	アルペジオを再生するときの音量を設定します。「Key」を選ぶと、アルペジオは、鍵盤を押したときの強さに応じた音量で再生されます。「Original」を選ぶと、鍵盤を押したときの強さに関係なく、アルペジオが持つオリジナルの音量で再生されます。
ペダル(19、21ページ)					
029	ペダルファンクション	<i>Pd1Func</i>	1 (Sustain) 2 (Arp Hold) 3 (Sus+ArpH) 4 (Articulation)	1 (Sustain)	Sustain: ペダルを踏んでいる間、サステインがかります。 Arp Hold: ペダルを踏んでいる間、アルペジオが鳴ります。 Sus+ArpH: ペダルを踏んでいる間、サステインがかり、アルペジオが鳴ります。 Articulation: ペダルを踏んでいる間、アーティキュレーション効果がかかります。
メトロノーム(16ページ)					
030	拍子(分子)	<i>TimeSigN</i>	00~60	**	メトロノームの拍子を設定します。
031	拍子(分母)	<i>TimeSigD</i>	2分音符、4分音符、 8分音符、16分音符	**	メトロノームの1拍の音符の長さを設定します。
032	メトロノーム音量	<i>MetroVol</i>	000~127	100	メトロノームの音量を設定します。

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定	内容
レッスン(34ページ)					
033	レッスンの右手パート	R-Part	01~16	01	コンピューターから転送したソングをレッスンに使うとき、右手パートとして再生させるチャンネルを設定します。転送したソングを選び、数字ボタンや、[+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して、再生させたいチャンネルを選びます。右手にはチャンネル1、左手にはチャンネル2を設定することをおすすめします。
034	レッスンの左手パート	L-Part	01~16	02	コンピューターから転送したソングをレッスンに使うとき、左手パートとして再生させるチャンネルを設定します。転送したソングを選び、数字ボタンや、[+ /YES]、[- /NO]ボタンを押して、再生させたいチャンネルを選びます。右手にはチャンネル1、左手にはチャンネル2を設定することをおすすめします。
035	ユアテンポ	YourTemp	ON/OFF	ON	「マイベース」のソングのテンポを、弾くベースに合わせて変化させる(ON)か、変化しない(OFF)かを設定します。
036	ガイド音	Guide	ON/OFF	ON	「マイベース」機能のとき、ガイド音を鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。
MIDI					
037	ローカルコントロール	Local	ON/OFF	ON	この楽器の鍵盤演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。
038	外部クロック	ExtClock	ON/OFF	OFF	この楽器の自動演奏(ソング、スタイルなど)を、内部クロックで動作させる(OFF)か、外部クロックで動作させる(ON)かを設定します。
039	イニシャルセンド	InitSend	YES/NO	—	この楽器のパネル設定をコンピューターに送信します。[+ /YES]ボタンを押すと実行、[- /NO]ボタンを押すとキャンセルになります。
オーディオ(48、49、50ページ)					
040	[AUX IN]オーディオ入力音量	AuxInVol	000~127	50	[AUX IN]端子からのオーディオ入力音(48ページ)をこの楽器で鳴らすときの音量を調節します。
041	[USB TO HOST]オーディオ入力音量	USBInVol	000~127	100	[USB TO HOST]端子からのオーディオ入力音(50ページ)をこの楽器で鳴らすときの音量を調節します。
042	ループバック	Loopback	ON/OFF	ON	[USB TO HOST]端子からのオーディオ入力音を、楽器での演奏音に重ねて再度コンピューターに出力するかどうかを設定します。楽器での演奏音しか出力したくない場合はOFFに設定します。(50ページ)
043	メロディーキャンセル	MelodySP	ON/OFF	OFF	[AUX IN]端子や[USB TO HOST]端子に接続した、外部オーディオ機器やコンピューターでのオーディオ再生音を、この楽器で鳴らしているときに、メロディーパートの音をキャンセル(小さくする)したい場合はONに設定します。(49ページ)
044	メロディーキャンセルパン	SupprPan	L63~C~R63	C	外部オーディオ機器の再生音を楽器で鳴らしている場合、キャンセルさせる(小さくする)音の定位を調整します。(49ページ)
レジストフリーズ(46ページ)					
045	スタイルフリーズ	StyleFrz	ON/OFF	OFF	レジストレーションメモリーを呼び出すときに、スタイル設定(45ページ)は呼び出さず、現状のまま固定(フリーズ)したい場合はONに設定します。
046	トランスポーズフリーズ	TransFrz	ON/OFF	OFF	レジストレーションメモリーを呼び出すときに、トランスポーズ(45ページ)は呼び出さず、現状のまま固定(フリーズ)したい場合はONに設定します。
047	ボイスフリーズ	VoiceFrz	ON/OFF	OFF	レジストレーションメモリーを呼び出すときに、楽器音(45ページ)は呼び出さず、現状のまま固定(フリーズ)したい場合はONに設定します。
デュオ(22ページ)					
048	デュオモード	DuoMode	ON/OFF	OFF	鍵域を左右に分ける場合はONに設定します。
049	デュオ左鍵域ボイス	DuoLvc	001~622	*	左鍵域のボイスを選択します。
050	デュオスプリットポイント	DuoPnt	036~096 (C1~C6)	66 (F#3)	左鍵域と右鍵域の境目を設定します。(22ページ)
051	デュオ右鍵域音量	DuoRVol	000~127	*	右鍵域の音量を調節します。
052	デュオ左鍵域音量	DuoLVol	000~127	*	左鍵域の音量を調節します。


機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定	内容
053	デュオ右鍵域 オクターブ	<i>DuoROct</i>	-3~+3	*	右鍵域ボイスの音程をオクターブ単位で設定します。
054	デュオ左鍵域 オクターブ	<i>DuoLOct</i>	-3~+3	*	左鍵域ボイスの音程をオクターブ単位で設定します。
055	デュオタイプ	<i>DuoType</i>	1 (Balance) 2 (Separate)	2 (Separate)	デュオモード(22ページ)の場合に有効な機能です。 Balance: 左側鍵域と右側鍵域の演奏音が左右両側のスピーカーで鳴ります。 Separate: 左側鍵域の演奏音が左側スピーカーで、右側鍵域の演奏音が右側スピーカーで鳴ります。
ストレージ					
056	ストレージモード	<i>Storage</i>	ON/OFF	OFF	本機をコンピューターにつないだときに、本機をコンピューターにストレージとして認識させる場合はONにします。 本機をコンピューターにつないだときに、本機をコンピューターにMIDI機器として認識させる場合はOFFにします。 ストレージモードをONにしている間は、楽器を演奏することができなくなります。コンピューターとの間でファイルを転送するときのみ、ONにしてください。
スタイルファイルの登録					
057	スタイルの登録	<i>StyleReg</i>	001~nnn	—	スタイルファイルを登録します。(29ページ)
デモ(31ページ)					
058	デモグループ	<i>DemoGrp</i>	1 (Demo) 2 (Preset) 3 (User) 4 (Download)	1 (Demo)	再生させるデモのグループを選択します。
059	プレイモード	<i>PlayMode</i>	1 (Normal) 2 (Random)	1 (Normal)	デモの再生方法を選択します。
オートパワーオフ(13ページ)					
060	オートパワーオフ	<i>AutoOff</i>	OFF、5/10/15/ 30/60/120(分)	30(分)	オートパワーオフするまでの時間を設定します。
バッテリー(12ページ)					
061	バッテリー選択	<i>Battery</i>	1 (Alkaline)/ 2 (Ni-MH)	1 (Alkaline)	バッテリー(電池)の種類を選択します。 Alkaline: アルカリ乾電池、マンガン乾電池 Ni-MH: 充電式ニッケル水素電池(充電電池)

* 音色の組み合わせごとに最適な設定値になっています。

** 現在選ばれている「ソング」「スタイル」「アルペジオ」ごとに最適な設定値になっています。

困ったときは

現象	原因と解決方法
[⏻] (スタンバイ/オン) スイッチを押して、電源を入れたとき、または切ったとき、ポツンという音が出る。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
この楽器の近くで携帯電話を使っている (または呼び出し音が鳴っている) とき、本体スピーカーやヘッドホンから雑音が出る。	この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
スマートデバイスのアプリケーションと楽器と一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドホンから雑音 (ノイズ) が出る。	スマートデバイスのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	[PHONES/OUTPUT] 端子に、ヘッドホンなどのプラグが接続されていませんか？ヘッドホン (プラグ) を抜いてください。
	MIDI のローカルコントロールがオフ (OFF) に設定されていませんか？機能設定 (54 ページ 機能番号 037) でローカルコントロールをオン (ON) にしてください。
楽器を操作しても楽器が反応しない。	ストレージモードがオン (ON) に設定されていませんか？機能設定 (55 ページ 機能番号 056) でストレージモードをオフ (OFF) にしてください。
右手の鍵域を弾いても、音が鳴らない。	コード辞書 (28 ページ) を使用していませんか？右手の鍵域はコードのルート音とコードタイプの指定用となり、弾いても音が鳴りません。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音、メトロノームが途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数 (48 音) を越えています。 デュアルボイスやスプリットボイス、スタイルやソング、メトロノームなどを含めて最大 48 音の範囲で鳴らすことができます。48 音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
ハーモニーが鳴らない。	ハーモニー (001~026) はタイプ別に鳴らし方が異なります。001~005 は、スタイルオン時、自動伴奏鍵域でコードを押さえてスタイルを鳴らし、右側の鍵盤を弾くとハーモニー音加わります。006~026 はスタイル オン/オフには関係ありませんが、006~012 は2音同時に押さえる必要があります。
[スタート/ストップ] ボタンを押しても、スタイル、ソングがスタートしない。	外部クロックの設定がオン (ON) に設定されていませんか？機能設定 (54 ページ 機能番号 038) で、外部クロックをオフ (OFF) にしてください。
[スタイル オン/オフ] ボタンを押しても ACMP ON が表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> • スタイルに関する機能を使うときは、まず [スタイル] ボタンを押してください。 • デュオモード時には表示されません。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル音量の設定が下がっていませんか？機能設定 (53 ページ 機能番号 016) でスタイル音量の設定を確認してください。
	コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切ではありませんか？機能設定 (52 ページ 機能番号 003) で、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。 ACMP 表示は出ていますか？表示が出ていない場合は、もう一度 [スタイル オン/オフ] ボタンを押して ACMP を表示させてください。
スタイルが、押さえたコードのとおりには鳴らない。	機能設定 (53 ページ 機能番号 017) が、マルチに設定されている場合は、以下のような現象が発生します。 <ul style="list-style-type: none"> • 同じようなコードが連続した場合 (マイナーセブンスコードに、同じルート音マイナーコードが続いた場合など)、スタイルが変化しないことがあります。 • 鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されず。 • オクターブ (完全8度) の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
フットスイッチ (サステイン) のオン/オフが逆になった (フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)。	電源を入れたあとにフットスイッチを接続したため、もしくはフットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。 電源を切った状態で接続し、フットスイッチを踏まずに電源を入れてください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用している AWM 音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにわけて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。

現象	原因と解決方法
<ul style="list-style-type: none"> • 音量が小さくなった。 • 音質が劣化した。 • リズムが止まる。 • ソングなどの録音内容が、正しく演奏(再生)されない。 • 突然画面の表示が消え、パネル設定がリセットされた。 	<p>電池が消耗しています。6本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。</p>
<p>電源が勝手に切れる。</p>	<p>故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。(13ページ) オートパワーオフ機能を使用しない場合は、機能設定(55ページ 機能番号060)でオートパワーオフをOFFに設定してください。</p>
<p>【】(スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を入れたとき、電源がすぐに切れる。</p>	<p>過電圧保護機能が働いたためです。指定以外の電源アダプターを使用しているか、電源アダプターが壊れている可能性があります。電源アダプターは必ず指定のもの(74ページ)をご使用ください。電源アダプターが壊れている可能性がある場合は、お買い上げ店、または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。</p>
<p>スマートデバイスのアプリケーションが楽器を認識しない。</p>	<p>ストレージモードがオン(ON)に設定されていませんか？機能設定(55ページ 機能番号056)でストレージモードをオフ(OFF)にしてください。</p>

楽器リスト

最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は48音ですが、スプリットボイスやスタイル、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が48音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。48音以上になると、後着優先*で発音します。

*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、あとから送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

NOTE

- MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo.を使用してください。
- MIDIプログラムチェンジNo.を0~127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた値で指定します。たとえば、38の値を指定する場合は、1を引いて37の値をセットします。
- フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、楽器音によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

[パネル楽器リスト]

楽器番号	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
1	0	115	1	ライブ! コンサートグランドピアノ
2	0	112	1	グランドピアノ
3	0	112	2	ブライトピアノ
4	0	112	7	ハーブシコード
5	0	112	4	ホンキートンクピアノ
6	0	112	3	ミディグランドピアノ
7	0	113	3	CP80
エレピ				
8	0	118	5	クール! スーパークラスエレクトリックピアノ
9	0	118	6	ジャズコーラスエレクトリックピアノ
10	0	120	5	フェーズエレクトリックピアノ
11	0	119	5	クール! トレモロエレクトリックピアノ
12	0	121	5	クール! エレクトリックピアノ
13	0	117	5	ステージエレクトリックピアノ
14	0	114	5	クール! ギャラクシーエレクトリックピアノ
15	0	113	6	ハイパータイズ
16	0	112	5	ファンキーエレクトリックピアノ
17	0	112	6	DXモダンエレクトリックピアノ
18	0	114	6	ビーマスエレクトリックピアノ
19	0	112	8	クラビ
20	0	113	8	ワウクラビ
オルガン				
21	0	118	19	クール! オルガン
22	0	117	19	クール! ローターオルガン
23	0	112	17	ジャズオルガン 1
24	104	49	17	ジャズオルガン 1 + ローターリファスト
25	0	113	17	ジャズオルガン 2
26	104	50	17	ジャズオルガン 2 + ローターリファスト
27	0	112	19	ロックオルガン
28	0	120	19	オクターブシフトオルガン
29	0	114	19	パープルオルガン
30	0	112	18	クリックオルガン
31	0	116	17	ブライトオルガン
32	0	127	19	シアターオルガン
33	0	121	20	16+2オルガン
34	0	120	20	16+4オルガン
35	0	113	20	チャペルオルガン
36	0	112	20	パイプオルガン
37	0	112	21	リードオルガン
アコーディオン				
38	0	112	22	ミュゼットアコーディオン
39	0	113	22	トラディショナルアコーディオン
40	0	113	24	バンドネオン
41	0	113	23	モダンハーブ
42	0	114	23	ブルースハーブ
43	0	115	23	ハーモニカ

楽器番号	バンクセレクト		MIDIプログラムチェンジNo. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ギター				
44	8	96	1	S.Art Lite ナイロン弦ギター ハーモニクス ***
45	8	96	2	S.Art Lite スチール弦ギター ハーモニクス ***
46	8	97	1	S.Art Lite ナイロン弦ギター スライド ***
47	8	97	2	S.Art Lite スチール弦ギター スライド ***
48	8	96	6	S.Art Lite ディストーションギター ***
49	0	116	25	ダイナミックナイロン弦ギター
50	0	118	30	ダイナミックオーバードライブギター
51	0	121	31	ダイナミックディストーションギター
52	0	122	25	ナイロン弦ギター
53	0	112	25	クラシックギター
54	104	25	26	スチール弦ギター
55	0	112	26	フォークギター
56	0	112	27	ジャズギター
57	0	117	28	60sグリーンギター
58	0	113	26	12弦ギター
59	0	112	28	グリーンギター
60	0	127	28	ウウギター
61	0	113	27	オクターブギター
62	0	112	29	ミュートギター
63	0	112	30	オーバードライブギター
64	0	112	31	ディストーションギター
65	0	127	31	ウウディストーションギター
ベース				
66	8	96	18	S.Art Lite スラップベース ***
67	0	116	34	ダイナミックエレクトリックベース
68	0	112	34	フィンガーベース
69	0	112	33	アコースティックベース
70	0	112	35	ピックベース
71	0	112	36	フレットレスベース
72	0	112	37	スラップベース
73	0	121	40	ファンクベース
74	0	112	39	シンセベース
75	0	113	39	ハイQベース
76	0	113	40	ダンスベース
ストリングス				
77	8	96	50	S.Art Lite ストリングス ***
78	0	117	50	ライブ! ストリングス
79	104	23	49	スタジオストリングス
80	0	112	49	ストリングス
81	0	112	50	チェンバーストリングス
82	0	115	50	マルカートストリングス
83	0	113	50	スローストリングス

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
84	0	112	45	トレモロストリングス
85	0	112	51	シンセストリングス
86	0	112	46	ピチカートストリングス
87	0	116	46	オーケストラピチカートストリングス
88	0	113	41	スイート!パイオリン
89	0	112	41	パイオリン
90	0	112	43	チェロ
91	0	112	44	コントラバス
92	0	112	47	ハーブ
93	0	112	56	オーケストラヒット
コーラス				
94	8	96	55	S.Art Lite ゴスペルコーラス ***
95	0	112	53	コーラス
96	104	12	54	ゴスペル Hmm
97	104	13	54	ゴスペル Wow
98	0	113	53	ボーカルアンサンブル
99	0	112	55	エアコーラス
100	0	112	54	ボックスフマーナ
サクソ				
101	8	96	83	S.Art Lite テナーサクソ ***
102	0	122	67	サクソセクション
103	0	117	67	スイート!テナーサクソ
104	0	112	67	テナーサクソ
105	0	112	66	アルトサクソ
106	0	112	65	ソプラノサクソ
107	0	112	68	バリトンサクソ
108	0	114	67	ブレッシーテナーサクソ
109	0	116	66	スモールサクソセクション
110	0	112	72	クラリネット
111	0	112	69	オーボエ
112	0	112	70	イングリッシュホルン
113	0	112	71	バスーン
トランペット				
114	0	112	57	トランペット
115	0	127	57	ディストーショントランペット
116	0	112	58	トロンボーン
117	0	113	58	トロンボーンセクション
118	0	112	60	ミュートトランペット
119	0	112	61	フレンチホルン
120	0	112	59	チューバ
ブラス				
121	8	96	57	S.Art Lite ブラスセクション ***
122	0	117	63	ライブ!ブラス
123	0	112	62	ブラスセクション
124	0	113	62	ビッグバンドブラス
125	0	116	62	オクターブブラス
126	0	113	63	80年代風ブラス
127	0	119	62	メローホーン
128	0	115	63	ファンキーブラス
129	0	114	63	テクノブラス
130	0	112	63	シンセブラス
フルート				
131	8	96	74	S.Art Lite フルード ***
132	0	114	74	スイート!フルード
133	0	115	74	スイート!クラシカルフルード
134	0	112	74	フルード
135	0	112	73	ピッコロ
136	0	112	76	パンフルード
137	0	112	75	リコーダー
138	0	112	80	オカリナ

楽器番号	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
シンセ				
139	104	20	91	ジェミニ
140	104	21	91	ハンズアップ!
141	0	112	81	スクエアリード
142	0	112	82	ソートゥースリード
143	0	108	82	RSテクノソリード
144	0	112	88	アンダーハイム
145	0	112	85	ポータートーン
146	0	115	82	アナログン 1
147	0	119	82	ファーゴ 1
148	104	53	82	アナログン 2
149	104	54	82	ファーゴ 2
150	0	112	86	ボイスリード
151	0	121	82	ファンキーリード
152	0	118	89	スイートヘブン
153	0	121	89	ドリームヘブン
154	0	113	89	シンビアント
155	0	112	99	スターダスト
156	0	112	101	ブライトネス
157	0	112	92	ゼノンパッド
158	0	112	95	イクイノックス
159	0	112	89	ファンタジア
160	0	113	90	ダークムーン
161	0	113	101	ベルパッド
162	0	126	90	RSアナログパッド
163	0	116	91	RSショートレゾナンス
パーカッション				
164	0	112	12	ピラフォン
165	0	113	12	ジャズバイブス
166	0	112	13	マリンバ
167	0	112	14	シロフォン
168	0	112	115	スチールドラム
169	0	112	9	チェレスタ
170	0	112	11	オルゴール
171	0	112	15	チューブラーベル
172	0	112	48	ティンパニ
ワールド				
173	0	112	106	バンジョー
174	0	0	111	フィドル
175	0	0	110	バグパイプ
176	0	0	16	ダルシマー 1
177	0	35	16	ダルシマー 2
178	0	96	16	ツィンパロン
179	0	121	16	サントウール
180	0	97	108	カヌーン
181	0	98	106	ウード
182	0	96	106	ラパーブ
183	0	0	109	カリンバ
184	0	113	21	ハルモニウム 1 (単音)
185	0	114	21	ハルモニウム 2 (二音)
186	0	115	21	ハルモニウム 3 (三音)
187	0	114	105	タンブーラ
188	0	96	112	ブーンギ
189	0	117	74	バンスリ
190	0	0	105	シタール 1
191	0	32	105	デチューンドシタール
192	0	35	105	シタール 2
193	0	0	112	シャナイ
194	0	97	106	ゴビチャント
195	0	116	117	タブラ

楽器番号	バンクセレクト		MIDIプログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
196	0	115	111	二胡 (アウフ)
197	0	118	74	笛子 (ディズ)
198	0	116	106	琵琶 (ピバ)
199	0	113	108	古筝 (グチェン)
200	0	40	47	揚琴 (ヤンチン)
201	0	120	111	モリンフル
202	0	124	74	スリン
203	0	0	107	三味線
204	0	0	108	琴
205	0	96	108	大正琴
デュアル*				
206	-	-	-	オクターブピアノ
207	-	-	-	ピアノ&ストリングス
208	-	-	-	ピアノパッド
209	-	-	-	オクターブハープシコード
210	-	-	-	ダイナーエレクトリックピアノ
211	-	-	-	エレクトリックピアノパッド
212	-	-	-	フルオルガン
213	-	-	-	オクターブジャズギター
214	-	-	-	オクターブストリングス
215	-	-	-	オーケストラセクション
216	-	-	-	オクターブピチカートストリングス
217	-	-	-	ストリングスセクション
218	-	-	-	ブラストゥッチェ
219	-	-	-	オーケストラトゥッチェ
220	-	-	-	オクターブフレンチホルン
221	-	-	-	オクターブハーブ
222	-	-	-	オーケストラヒット&ティンパニ
223	-	-	-	オクターブコーラス
224	-	-	-	ジャズブラスセクション
225	-	-	-	ジャズセクション
226	-	-	-	ホールルームサクソファンサンプル
227	-	-	-	ホールルームブラス
228	-	-	-	フルート&クラリネット
229	-	-	-	トランペット&トロンボーン
230	-	-	-	ファットシンセブラス
231	-	-	-	オクターブリード
232	-	-	-	スーパー5度リード
サウンドエフェクト				
233	0	0	121	フレットノイズ
234	0	0	122	プレスノイズ
235	0	0	123	海辺
236	0	0	124	鳥のさえずり
237	0	0	125	電話
238	0	0	126	ヘリコプター
239	0	0	127	拍手
240	0	113	116	手拍子
241	0	0	128	銃声
ドラムキット				
242	127	0	88	パワーキット
243	127	0	1	スタンダードキット 1
244	127	0	2	スタンダードキット 2
245	127	0	9	ルームキット
246	127	0	17	ロックキット
247	127	0	25	エレクトロニックキット
248	127	0	26	アナログキット
249	127	0	113	ダンスキット
250	127	0	33	ジャズキット
251	127	0	41	ブラッシュキット
252	127	0	49	シンフォニーキット
253	126	0	128	スタンダードキット 1+ 中国打楽器

楽器番号	バンクセレクト		MIDIプログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
254	126	0	40	インドキット 1
255	126	0	115	インドキット 2
256	126	0	55	スタンダードキット 1 + インドネシア打楽器 1
257	126	0	56	スタンダードキット 1 + インドネシア打楽器 2
258	126	0	57	スタンダードキット 1 + インドネシア打楽器 3
259	126	0	37	アラビックキット
260	126	0	41	キューバンキット
261	126	0	1	SFXキット 1
262	126	0	2	SFXキット 2
263	126	0	113	サウンドエフェクトキット
アルペジオ**				
264	-	-	-	コンチェルト
265	-	-	-	ラテンロック
266	-	-	-	ブラスセクション
267	-	-	-	ピアノバラード
268	-	-	-	シンセシーケンス
269	-	-	-	ギタリスト
270	-	-	-	ピッキング
271	-	-	-	スパニッシュ
272	-	-	-	ファンキークラビ
273	-	-	-	ハーペジオ
274	-	-	-	フィンガーベースレフト
275	-	-	-	コンボジャズレフト
276	-	-	-	ポールズベースレフト
277	-	-	-	トランスベースレフト
278	-	-	-	アシッドベースレフト
279	-	-	-	ピアノバラードレフト
280	-	-	-	サルサピアノレフト
281	-	-	-	ピアノアルペジオレフト
282	-	-	-	ギターアルペジオレフト
283	-	-	-	ストラムレフト

* 「デュアル」のカテゴリの音色を選ぶと、2つの音色が重なった音になります。
 ** 「アルペジオ」のカテゴリの音色を選ぶと、鍵盤を押さえるだけでアルペジオ(分散和音)が自動で再生されます。
 *** S.Art Liteボイス(19ページ)

[XGLite楽器リスト]

楽器番号	バンクセレクト MSB	MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名	
XGピアノ				
284	0	0	1	グランドピアノ
285	0	1	1	グランドピアノ KSP
286	0	40	1	ピアノストリングス
287	0	41	1	ドリーム
288	0	0	2	ブライトピアノ
289	0	1	2	ブライトピアノ KSP
290	0	0	3	エレクトリックグランドピアノ
291	0	1	3	エレクトリックグランドピアノ KSP
292	0	32	3	デチューンドCP80
293	0	0	4	ホンキートンクピアノ
294	0	1	4	ホンキートンクピアノ KSP
295	0	0	5	エレクトリックピアノ 1
296	0	1	5	エレクトリックピアノ 1 KSP
297	0	32	5	コーラスエレクトリックピアノ 1
298	0	0	6	エレクトリックピアノ 2
299	0	1	6	エレクトリックピアノ 2 KSP
300	0	32	6	コーラスエレクトリックピアノ 2
301	0	41	6	DX+アナログエレクトリックピアノ
302	0	0	7	ハーブシコード 1
303	0	1	7	ハーブシコード KSP
304	0	35	7	ハーブシコード 2
305	0	0	8	クラビ
306	0	1	8	クラビ KSP
XGクロマティック				
307	0	0	9	チェレスタ
308	0	0	10	グロックンシュピール
309	0	0	11	オルゴール 1
310	0	64	11	オルゴール 2
311	0	0	12	ピブラフォン
312	0	1	12	ピブラフォン KSP
313	0	0	13	マリンバ
314	0	1	13	マリンバ KSP
315	0	64	13	サインマリンバ
316	0	97	13	パリンバ
317	0	98	13	ログドラム
318	0	0	14	シロフォン
319	0	0	15	チューブラーベル
320	0	96	15	チャーチベル
321	0	97	15	カリヨン
XGオルガン				
322	0	0	17	ドローパーオルガン 1
323	0	32	17	デチューンドドローパーオルガン
324	0	33	17	60sドローパーオルガン 1
325	0	34	17	60sドローパーオルガン 2
326	0	35	17	70sドローパーオルガン 1
327	0	37	17	60sドローパーオルガン 3
328	0	40	17	16+2/2/3オルガン
329	0	64	17	オルガンベース
330	0	65	17	70sドローパーオルガン 2
331	0	66	17	チージーオルガン
332	0	67	17	ドローパーオルガン 2
333	0	0	18	パーカッシブオルガン 1
334	0	24	18	70sパーカッシブオルガン
335	0	32	18	デチューンドパーカッシブオルガン
336	0	33	18	ライトオルガン
337	0	37	18	パーカッシブオルガン 2
338	0	0	19	ロックオルガン
339	0	64	19	ロータリーオルガン

楽器番号	バンクセレクト MSB	MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名	
340	0	65	19	スローロータリーオルガン
341	0	66	19	ファストロータリーオルガン
342	0	0	20	チャーチオルガン 1
343	0	32	20	チャーチオルガン 3
344	0	35	20	チャーチオルガン 2
345	0	40	20	ノートダム
346	0	64	20	オルガンフルート
347	0	65	20	トレモロオルガンフルート
348	0	0	21	リードオルガン
349	0	40	21	パワオルガン
350	0	0	22	アコーディオン
351	0	0	23	ハーモニカ 1
352	0	32	23	ハーモニカ 2
353	0	0	24	タンゴアコーディオン 1
354	0	64	24	タンゴアコーディオン 2
XGギター				
355	0	0	25	ナイロン弦ギター 1
356	0	25	25	ナイロン弦ギター 3
357	0	43	25	ペロシティーギターハーモニクス
358	0	96	25	ウクレレ
359	0	0	26	スチール弦ギター
360	0	35	26	12弦ギター
361	0	40	26	ナイロン弦&スチール弦ギター
362	0	41	26	スチール弦ギター&ボディーサウンド
363	0	96	26	マンドリン
364	0	0	27	ジャズギター
365	0	32	27	ジャズアンプ
366	0	0	28	クリーンギター
367	0	32	28	コーラスギター
368	0	0	29	ミュートギター
369	0	40	29	ファンクギター
370	0	41	29	ミュートスチール弦ギター
371	0	45	29	ジャズマン
372	0	0	30	オーバードライブギター
373	0	43	30	ギターピンチ
374	0	0	31	ディストーションギター
375	0	40	31	フィードバックギター 1
376	0	41	31	フィードバックギター 2
377	0	0	32	ギターハーモニクス 1
378	0	65	32	ギターフィードバック
379	0	66	32	ギターハーモニクス 2
XGベース				
380	0	0	33	アコースティックベース
381	0	40	33	ジャズリズム
382	0	45	33	ペロシティックロスフェッドアップライトベース
383	0	0	34	フィンガーベース 1
384	0	18	34	フィンガーベースダーク
385	0	40	34	ベース&ディストーションギター
386	0	43	34	フィンガースラップベース
387	0	45	34	フィンガーベース 2
388	0	65	34	モジュラーテッドベース
389	0	0	35	ピックベース
390	0	28	35	ミュートピックベース
391	0	0	36	フレットレスベース 1
392	0	32	36	フレットレスベース 2
393	0	33	36	フレットレスベース 3
394	0	34	36	フレットレスベース 4
395	0	0	37	スラップベース 1
396	0	32	37	パンチサムベース

楽器番号	バンクセレクト	MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
397	0	0	38 スラップベース 2
398	0	43	38 ペロシティースイッチスラップ
399	0	0	39 シンセベース 1
400	0	40	39 テクノシンセベース
401	0	0	40 シンセベース 2
402	0	6	40 メロ-シンセベース
403	0	12	40 シーケンスドベース
404	0	18	40 クリックシンセベース
405	0	19	40 シンセベース 2 ダーク
406	0	40	40 モジュラーシンセベース
407	0	41	40 DXベース
XGストリングス			
408	0	0	41 バイオリン
409	0	8	41 スローバイオリン
410	0	0	42 ピオーラ
411	0	0	43 チェロ
412	0	0	44 コントラバス
413	0	0	45 トレモロストリングス
414	0	8	45 スロートレモロストリングス
415	0	40	45 サスペンストリングス
416	0	0	46 ピチカートストリングス
417	0	0	47 オーケストラハーブ
418	0	0	48 ティンパニ
XGアンサンブル			
419	0	0	49 ストリングス 1
420	0	3	49 ステレオストリングス
421	0	8	49 スローストリングス
422	0	35	49 60sストリングス
423	0	40	49 オーケストラ 1
424	0	41	49 オーケストラ 2
425	0	42	49 トレモロオーケストラ
426	0	45	49 ペロシティーストリングス
427	0	0	50 ストリングス 2
428	0	3	50 ステレオスローストリングス
429	0	8	50 レガートストリングス
430	0	40	50 ウォームストリングス
431	0	41	50 キングダム
432	0	0	51 シンセストリングス 1
433	0	64	51 シンセストリングス 4
434	0	0	52 シンセストリングス 2
435	0	0	53 クワイアアー
436	0	3	53 ステレオクワイア
437	0	32	53 メロクワイア
438	0	40	53 クワイアストリングス
439	0	0	54 ボイスウー
440	0	0	55 シンセボイス 1
441	0	40	55 シンセボイス 2
442	0	41	55 コラール
443	0	64	55 アナログボイス
444	0	0	56 オーケストラヒット 1
445	0	35	56 オーケストラヒット 2
446	0	64	56 インパクト
XGブラス			
447	0	0	57 トランペット
448	0	32	57 ウォームトランペット
449	0	0	58 トロンボーン 1
450	0	18	58 トロンボーン 2
451	0	0	59 チューバ
452	0	0	60 ミュートトランペット
453	0	0	61 フレンチホルン 1
454	0	6	61 フレンチホルン2

楽器番号	バンクセレクト	MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
455	0	32	61 フレンチホルン 2
456	0	37	61 ホルンオーケストラ
457	0	0	62 ブラスセクション
458	0	35	62 トランペット&トロンボーンセクション
459	0	0	63 シンセブラス 1
460	0	20	63 レゾナントシンセブラス
461	0	0	64 シンセブラス 2
462	0	18	64 ソフトブラス
463	0	41	64 クワイアブラス
XGリード			
464	0	0	65 ソプラノサクソ
465	0	0	66 アルトサクソ
466	0	40	66 サックスセクション
467	0	0	67 テナーサクソ
468	0	40	67 ブレッシュテナーサクソ
469	0	0	68 バリトンサクソ
470	0	0	69 オーボエ
471	0	0	70 イングリッシュホルン
472	0	0	71 パスーン
473	0	0	72 クラリネット
XGパイプ			
474	0	0	73 ビッコロ
475	0	0	74 フルーツ
476	0	0	75 リコーダー
477	0	0	76 パンフルート
478	0	0	77 ボトル
479	0	0	79 口笛
480	0	0	80 オカリナ
XGシンセリード			
481	0	0	81 スクエアリード 1
482	0	6	81 スクエアリード 2
483	0	8	81 LMスクエア
484	0	18	81 ハロー
485	0	19	81 シュラウド
486	0	64	81 メロー
487	0	65	81 ソロサイン
488	0	66	81 サインリード
489	0	0	82 ソートゥースリード 1
490	0	6	82 ソートゥースリード 2
491	0	8	82 シックソートゥース
492	0	18	82 ダイナミックソートゥース
493	0	19	82 デジタルソートゥース
494	0	20	82 ビッグリード
495	0	24	82 ヘビーシンセ
496	0	96	82 シーケンスドアナログ
497	0	0	83 カリオベリード
498	0	65	83 ビュアリード
499	0	0	84 チフリード
500	0	0	85 チャランリード
501	0	64	85 ディストーションリード
502	0	0	86 ボイスリード
503	0	0	87 5度リード
504	0	35	87 ビッグファイブ
505	0	0	88 ベース&リード
506	0	16	88 ビッグ&ロー
507	0	64	88 ファット&パーキー
508	0	65	88 ソフトホワール
XGシンセパッド			
509	0	0	89 ニューエイジパッド
510	0	64	89 ファンタジー
511	0	0	90 ウォームパッド

楽器番号	バンクセレクト MSB		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
512	0	0	91	ポリシンセパッド
513	0	0	92	クワイアパッド
514	0	66	92	アイトピア
515	0	0	93	ボウダパッド
516	0	0	94	メタリックパッド
517	0	0	95	ハローパッド
518	0	0	96	スワイプパッド
XGシンセエフェクト				
519	0	0	97	レイン
520	0	64	97	ハーモレイン
521	0	65	97	アフリカンウィンド
522	0	66	97	カリブ
523	0	0	98	サウンドトラック
524	0	27	98	ブローグ
525	0	0	99	クリスタル
526	0	12	99	シンセドラムコンプ
527	0	14	99	ポップコーン
528	0	18	99	ダイニーベル
529	0	35	99	ラウンドグロックンシュピール
530	0	40	99	グロックンシュピールチャイム
531	0	41	99	クリアベル
532	0	42	99	コーラスベル
533	0	65	99	ソフトクリスタル
534	0	70	99	エアベル
535	0	71	99	ベルハーブ
536	0	72	99	ガムリンバ
537	0	0	100	アトモスフィア
538	0	18	100	ウォームアトモスフィア
539	0	19	100	ハローリリース
540	0	40	100	ナイロンエレクトリックピアノ
541	0	64	100	ナイロンハーブ
542	0	65	100	ハーブボックス
543	0	66	100	アトモスフィアパッド
544	0	0	101	ブライトネス
545	0	0	102	ゴブリン
546	0	64	102	ゴブリンシンセ
547	0	65	102	クラーパー
548	0	67	102	リチュアル
549	0	68	102	トゥーヘブン
550	0	70	102	ナイト
551	0	71	102	グリズン
552	0	96	102	ベルクワイア
553	0	0	103	エコー
554	0	65	103	ビッグバン
555	0	0	104	サイエンスフィクション
XGワールド				
556	0	0	78	尺八
557	0	97	105	タンブーラ
558	0	0	106	バンジョー
559	0	28	106	ミュートバンジョー
XGパーカッション				
560	0	0	113	ディンクルベル
561	0	96	113	ボナン
562	0	97	113	アルマイル
563	0	98	113	ガムラン
564	0	99	113	ステレオガムラン
565	0	100	113	ラマシバル
566	0	0	114	アゴゴ
567	0	0	115	スチールドラム
568	0	97	115	グラスパーカッション
569	0	98	115	タイベル

楽器番号	バンクセレクト MSB		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
570	0	0	116	ウッドブロック
571	0	96	116	カスタネット
572	0	0	117	和太鼓
573	0	96	117	グランカッサ
574	0	0	118	メロディックタム 1
575	0	64	118	メロディックタム 2
576	0	65	118	リアルタム
577	0	66	118	ロックタム
578	0	0	119	シンセドラム
579	0	64	119	アナログタム
580	0	65	119	エレクトロニックパーカッション
581	0	0	120	リバーシンバル
XGサウンドエフェクト				
582	64	0	1	カッティングノイズ 1
583	64	0	2	カッティングノイズ 2
584	64	0	4	ストリングスラップ
585	64	0	17	フルートキークリック
586	64	0	33	雨
587	64	0	34	雷
588	64	0	35	風
589	64	0	36	せせらぎ
590	64	0	37	泡
591	64	0	38	フィード
592	64	0	49	犬
593	64	0	50	馬
594	64	0	51	鳥のさえずり 2
595	64	0	56	マオウ
596	64	0	65	フォーンコール
597	64	0	66	ドアのきしみ
598	64	0	67	ドアを開める
599	64	0	68	スクラッチカット
600	64	0	69	スクラッチスプリット
601	64	0	70	ウィンドチャイム
602	64	0	71	電話 2
603	64	0	81	イグニッション
604	64	0	82	タイヤ
605	64	0	83	レーシングカー
606	64	0	84	衝突
607	64	0	85	サイレン
608	64	0	86	列車
609	64	0	87	ジェット機
610	64	0	88	スターシップ
611	64	0	89	バースト
612	64	0	90	ローラーコースター
613	64	0	91	サブマリン
614	64	0	97	笑い声
615	64	0	98	悲鳴
616	64	0	99	パンチ
617	64	0	100	心音
618	64	0	101	足音
619	64	0	113	マシンガン
620	64	0	114	レーザーガン
621	64	0	115	爆発
622	64	0	116	花火

スタンダードキット1リスト

※スタンダードキット1以外のドラムキットは、2ページの電子マニュアル「ドラムキットリスト」をご覧ください。

左端の鍵盤		楽器番号 243	
		スタンダードキット1	
C1		C 1	シーククリック H
	C#1	C# 1	ブラッシュタップ
D1		D 1	ブラッシュスワール
	D#1	D# 1	ブラッシュスラップ
E1		E 1	ブラッシュタップスワール
F1		F 1	スネアロール
	F#1	F# 1	カスタネット
G1		G 1	スネアソフト
	G#1	G# 1	スティック
A1		A 1	バスドラムソフト
	A#1	A# 1	オープンリムショット
B1		B 1	バスドラムハード
C2		C 2	バスドラム
	C#2	C# 2	サイドスティック
D2		D 2	スネア
	D#2	D# 2	ハンドクラップ
E2		E 2	スネアタイト
F2		F 2	フロアタム L
	F#2	F# 2	ハイハットクローズ
G2		G 2	フロアタム H
	G#2	G# 2	ハイハットペダル
A2		A 2	ロータム
	A#2	A# 2	ハイハットオープン
B2		B 2	ミッドタム L
C3		C 3	ミッドタム H
	C#3	C# 3	クラッシュシンバル 1
D3		D 3	ハイタム
	D#3	D# 3	ライドシンバル 1
E3		E 3	チャイニーズシンバル

		楽器番号 243	
		スタンダードキット1	
F3		F 3	ライドシンバルカップ
	F#3	F# 3	タンバリン
G3		G 3	スプラッシュシンバル
	G#3	G# 3	カウベル
A3		A 3	クラッシュシンバル 2
	A#3	A# 3	ビブラスラップ
B3		B 3	ライドシンバル 2
C4		C 4	ボンゴ H
	C#4	C# 4	ボンゴ L
D4		D 4	コンガ H ミュート
	D#4	D# 4	コンガ H オープン
E4		E 4	コンガ L
F4		F 4	ティンバレス H
	F#4	F# 4	ティンバレス L
G4		G 4	アゴゴ H
	G#4	G# 4	アゴゴ L
A4		A 4	カバサ
	A#4	A# 4	マラカス
B4		B 4	サンバホイッスル H
C5		C 5	サンバホイッスル L
	C#5	C# 5	ギロショート
D5		D 5	ギロロング
	D#5	D# 5	クラベス
E5		E 5	ウッドブロック H
F5		F 5	ウッドブロック L
	F#5	F# 5	クイーカミュート
G5		G 5	クイーカオープン
	G#5	G# 5	トライアングルミュート
A5		A 5	トライアングルオープン
	A#5	A# 5	シェイカー
B5		B 5	ジングルベル
C6		C 6	ベルツリー

ソングリスト

番号	ソング名
デモソング	
001	デモ1 (ヤマハオリジナル)
002	デモ2 (ヤマハオリジナル)
003	デモ3 (ヤマハオリジナル)
わくわくピアニスト	
004	エリーゼのために(やさしい) (L. v. ベートーヴェン)
005	エリーゼのために(チャレンジ!) (L. v. ベートーヴェン)
006	きらきら星(やさしい) (Traditional)
007	きらきら星(チャレンジ!) (Traditional)
008	トルコ行進曲(やさしい) (W.A. モーツァルト)
009	トルコ行進曲(チャレンジ!) (W.A. モーツァルト)
010	歓喜の歌(やさしい) (L. v. ベートーヴェン)
011	歓喜の歌(チャレンジ!) (L. v. ベートーヴェン)
012	エンターテイナー (やさしい) (S. ジョプリン)
013	エンターテイナー (チャレンジ!) (S. ジョプリン)
014	ロンドンデリーの歌(やさしい) (Traditional)
015	ロンドンデリーの歌(チャレンジ!) (Traditional)
016	庭の千草(やさしい) (Traditional)
017	庭の千草(チャレンジ!) (Traditional)
018	アメージング・グレース(やさしい) (Traditional)
019	アメージング・グレース(チャレンジ!) (Traditional)
世界のメロディー	
020	フレール・ジャック (Traditional)
021	かえるの合唱 (Traditional)
022	オーラ・リー (Traditional)
023	ロンドン橋 (Traditional)
024	アピニョンの橋の上で (Traditional)
025	一週間 (Traditional)
026	アロハ・オエ (Q. リリウオカラニ)
027	森のくまさん (Traditional)
028	故郷の人々 (S. C. フォスター)
029	駅馬車 (Traditional)
030	ゆかいな牧場 (Traditional)
031	サンタ・ルチア (A. ロンゴ)
032	幸せなら手をたたこう (Traditional)
033	夢見る君 (S. C. フォスター)
034	グリーンズリーブス (Traditional)
035	カリソカ (Traditional)
036	山のごちそう (Holdilia Cook) (Traditional)
037	パンジョーをかき鳴らせ (S. C. フォスター)
038	ラ・クカラーチャ (Traditional)
039	フニクリ・フニクラ (L. デンツァ)
040	家路 (A. ドヴォルジャーク)
041	ブラームスの子守歌 (J. ブラームス)
042	愛の夢 第3番 (F. リスト)
043	威風堂々 (E. エルガー)
044	闘牛士の歌 (G. ビゼー)
045	木星 (組曲「惑星」より) (G. ホルスト)
046	ダツタン人の踊り (A. ボロディン)
047	モルダウ (交響詩「我が祖国」より) (B. スメタナ)
048	愛のあいさつ (E. エルガー)
049	ユーモレスク (A. ドヴォルジャーク)
050	交響曲第9番「新世界より」第4楽章 (A. ドヴォルジャーク)
スタイルのバレット	
051	かわいいうーガスティン (Traditional)
052	メリーさんのひつじ (Traditional)
053	アイルランド人のほほ笑みは (E. R. ポール)
054	茶色の小瓶 (Traditional)
055	10人のインディアン (Traditional)
056	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー (Traditional)

番号	ソング名
057	愛しのクレメンタイン (Traditional)
058	おお、スザンナ (S. C. フォスター)
059	赤い河の谷間 (Traditional)
060	わらの中の七面鳥 (Traditional)
061	マフィン・マン (R. A. キング)
062	ポップ・ゴーズ・ザ・ウィズル (Traditional)
063	大きな古時計 (H. C. ワーク)
064	草競馬 (S. C. フォスター)
065	聖者の行進 (Traditional)
066	アルプス一万尺 (Traditional)
067	リパブリック賛歌 (Traditional)
068	線路は続くよどこまでも (Traditional)
069	アメリカンパトロール (F. W. ミーチャム)
070	ダウン・パイ・ザ・リバーサイド (Traditional)
楽器のバレット	
071	フォーレのシチリアーノ (G. フォーレ)
072	白鳥の湖 (P. I. チャイコフスキー)
073	凱旋行進曲 (「アイダ」より) (G. ヴェルディ)
074	弦楽セレナード (P. I. チャイコフスキー)
075	ピチカート・ポリカ (J. シュトラウス2世)
076	愛のロマンス (Traditional)
077	パッハのメヌエット BWV Anh.114 (J. S. パッハ)
078	アベ・ベルム・コルプス (W. A. モーツァルト)
079	ラデツキ行進曲 (J. シュトラウス1世)
ピアノレパートリー	
080	小鳥ならば (Traditional)
081	ローレライ (F. シルヒャー)
082	鳩生の宿 (H. R. ビショップ)
083	スカボロ・フェア (Traditional)
084	なつかしきケンタッキーの我が家 (Traditional)
085	ロップ・ローモンド (Traditional)
086	きよこの夜 (F. グルーバー)
087	ひいらぎざざろう (Traditional)
088	もみのみ (Traditional)
089	ソナタ「屠場」第2楽章 (L. v. ベートーヴェン)
090	グノーのアベ・マリア (J. S. パッハ / C. F. グノー)
091	主人の望みの喜びよ (J. S. パッハ)
092	雨だれの前奏曲 (F. ショパン)
093	夜想曲 第2番 (F. ショパン)
094	別れの曲 (F. ショパン)
095	アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第2楽章 (W. A. モーツァルト)
096	アラバスク (J. F. プルグミュラー)
097	貴婦人の乗馬 (J. F. プルグミュラー)
098	エリーゼのために (L. v. ベートーヴェン)
099	トルコ行進曲 (W.A. モーツァルト)
100	24の前奏曲 作品28-7 (F. ショパン)
101	アニー・ローリー (Traditional)
102	金髪のジェニー (S. C. フォスター)
番号	
特別付録	
タッチスタディ	
103~112	TTutor01~TTutor10
コードスタディ	
113~124	ChdStd01~ChdStd12
コードプログレッション	
125~154	Maj1234~min1476

- ・これら内蔵ソングの譜面がソングブックに入っています。ただしソング番号001~003は除きます。
- ・一部のソングは、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

スタイルリスト

スタイル番号	スタイル名
8ビート	
1	ブリットポップロック
2	8ビートモダン
3	クール8ビート
4	ハッピー 8ビート
5	シェイク8ビート
6	ボーイバンドポップ
7	スイートポップ
8	コンテンポラリーロック
9	スタジアムロック
10	70sロック
11	ハードロック 1
12	60sギターポップ
13	8ビートアドリア
14	60s8ビート
15	8ビート
16	オフビート
17	フォークロック
18	60sロック
19	ハードロック 2
20	ロックシャッフル
21	8ビートロック
16ビート	
22	16ビート
23	ダンスホールポップ
24	シネマティックポップ
25	ポップシャッフル
26	ギターポップ
27	16ビートアップテンポ
28	クールシャッフル
29	ヒップホップライト
バラード	
30	70sグラムピアノ
31	エピックディーババラード
32	オーケストラロックバラード
33	ピアノバラード
34	ラブソング
35	6/8モダンエレピ
36	6/8スローロック
37	オルガンバラード
38	ポップバラード
39	16ビートバラード
ダンス	
40	クラブビート
41	スカイポップ
42	アガグビート
43	エレクトロニカ
44	ファンキーハウス
45	レトロクラブ
46	USヒップホップ
47	メローヒップホップ
48	チルアウト
49	ユーロトランス
50	イビサ

スタイル番号	スタイル名
51	スイングハウス
52	クラブダンス
53	クラブラテン
54	ガラージ 1
55	ガラージ 2
56	テクノパーティー
57	UKポップ
58	ヒップホップグループ
59	ヒップシャッフル
60	ヒップホップポップ
ディスコ	
61	モダンディスコ
62	70sディスコ
63	ラテンディスコ
64	サタデーナイト
65	ディスコハンズ
スイング&ジャズ	
66	ビッグバンドファスト
67	ビッグバンドバラード
68	アコースティックジャズ
69	アシッドジャズ
70	ジャズクラブ
71	スイング 1
72	スイング 2
73	5ビート
74	デキシーランド
75	ラグタイム
リズム&ブルース	
76	ブルースロック
77	UKソウル
78	ジャストR&B
79	ワーシップアコースティック 1
80	ワーシップアコースティック 2
81	ワーシップロックバラード
82	ソウル
83	デトロイトポップ
84	60sロックンロール
85	6/8ソウル
86	クロコツイスト
87	ロックンロール
88	コンボブギー
89	6/8ブルース
カントリー	
90	カントリーポップ
91	カントリースイング
92	カントリー 2/4
93	ブルーグラス
ラテン	
94	ブラジリアンサンバ
95	ブラジリアンボサ
96	パチャータ
97	キューバンソン
98	グアヒーラ
99	ボサノバ

スタイル番号	スタイル名
100	フォホ
101	セルタネージョ 1
102	セルタネージョ 2
103	パイアオン
104	タンゴアルゼンチーノ
105	クンビアペルアーナ
106	クンビアコロンビアーナ
107	ヴァジェナート
108	ホロボ
109	パランダ
110	メレンゲ
111	レゲトンポップ
112	レゲトン
113	ティファナ
114	バンドゥランゲンセ
115	クンビアグルペラ
116	バラードバンダ
117	メキシカンマンボ
118	マンボ
119	サルサ
120	ビギン
121	レゲエ
ワールド	
122	ハワイアン
123	ケルティックダンス
124	スコティッシュリール
125	4/4スタンダルト
126	ルンバ2/4
127	サイディー
128	ワヘダサギーラ
129	イラニアンエレック
130	エマラティ
131	アフリカンゴスペルレゲエ
132	ハイライフ1
133	アフリカンゴスペル
134	マコッサ
135	モダンアフロビート
136	ハイライフ 2
137	オルガンハイライフ
138	イグボハイライフ
139	ソカカリブソ
140	アゾント
141	インディアンポップ
142	バンガラ
143	パジャン
144	ポリー
145	タミール
146	ケララ
147	ゴアンポップ
148	ラジャスタン
149	ダンディヤ
150	カチャーリー
151	フォークヒルズ
152	モダンダンドゥット1

スタイル番号	スタイル名
153	クロンチョン
154	モダンダンドゥット2
155	ダンドゥットウムン
156	ダンドゥットスローレジェンド
157	ダンドゥット3/4
158	コプロランパク
159	ランガムモダン
160	ダンドゥットジャワ
161	チョンドゥット
162	ベトナムポップバラード
163	ベトナム6/8バラード
164	喜慶鑼鼓
165	彝(イ)族民謡
166	京劇
ボールルーム	
167	ウィンナーワルツ
168	イングリッシュワルツ
169	スローフォックス
170	フォックストロット
171	クイックステップ
172	タンゴ
173	パソドブレ
174	サンバ
175	チャチャチャ
176	ルンバ
177	ジャイブ
トラディショナル	
178	USマーチ
179	6/8マーチ
180	ジャーマンマーチ
181	ポルカポップ
182	オーバークライナーポルカ
183	タランテラ
184	ショーチューン
185	クリスマススイング
186	クリスマスワルツ
ワルツ	
187	イタリアンワルツ
188	スイングワルツ
189	ジャズワルツ
190	メキシカンワルツ
191	カントリーワルツ
192	オーバークライナーワルツ
193	ミュゼット
チルドレン	
194	ラーニング2/4
195	ラーニング4/4
196	ラーニング6/8
ピアニスト	
197	ストライド
198	ピアノスイング
199	ピアノブギー
200	アルペジオ
201	ハバネラ

スタイル番号	スタイル名
202	スローロック
203	8ビートピアノバラード
204	6/8ピアノマーチ
205	ピアノワルツ

ミュージックデータベースリスト

MDB番号	MDB名
オールタイムヒット	
1	Jude Hey
2	Jumping
3	WrldRock
4	All OK
5	YourTune
6	USA Surf
7	JustCall
8	Get Home
9	GtrWheel
10	IWasBorn
11	Sailing
12	BluJeans
13	Holiday
14	Imagine
15	Marriage
16	WiteShde
17	NowNever
18	Hard Day
19	USA Pie
20	Norway
21	YesterBd
22	A Magic
ポップ&ロック	
23	UR Shape
24	Love Me
25	Ideal
26	SweetPop
27	Just Way
28	Speed
29	Cheerful
30	SwiftShke
31	Watches
32	PrtTmlvr
33	S Party
34	MoonShdvw
35	NikitSng
36	GirlsMne
37	Radio
38	Attempt
39	OnAString
40	WhatWant
41	ThankFor
42	Tmbourin
43	RubyGirl
44	TopWorld
45	TeachSng
46	Each Min
47	ShakenUp
48	CrocRock
49	HurryLov
50	Champion






















MDB番号	MDB名
51	Jailhaus
52	Rock&Rll
53	HonkyTnk
54	JustU&Me
55	LveSmile
56	Wish I
バラード	
57	StayWith
58	DontMiss
59	HiBallad
60	Red Lady
61	IvoryAnd
62	TheWorld
63	Paradise
64	Whisper
65	Woman
66	CndleWnd
67	Fly Away
68	Love You
69	SavingAl
70	InTheDrk
71	Say You
72	Way Were
73	Inspiring
オールディーズ	
74	Diana's
75	Tonight
76	SandLter
77	No Rain
78	Ghetto
79	PrettyWm
80	Sherry
81	Sally's
ダンス&ディスコ	
82	SkyStars
83	Bad Love
84	PokerPop
85	FevrNite
86	StyAlive
87	Westerly
88	Run Free
89	DISCO
90	Joellife
91	Coupled
92	SingBack
93	Janeiro
94	BoomRoom
95	DontHide
96	RewCraig
97	LondonRU
98	WerUBeen
99	MkeMusic

MDB番号	MDB名
100	10.2 Sun
101	Trust
102	MarieClb
スイング&ジャズ	
103	Moon Of
104	Patrol
105	Rhythm
106	CatSwing
107	Misbehav
108	Safari
109	SoWhattis
110	TimeGone
111	TasteHny
112	Two Foot
113	Blk&Whte
114	EnterRag
115	TakeFour
116	Birdland
117	MistyFln
カントリー	
118	OnTheRd
119	BlueSong
120	InMyMind
121	RoadHome
122	GreenGrs
123	EverNeed
124	Lucille
125	Tennessee
ラテン	
126	LoveAmor
127	Brasil
128	ChryPink
129	MyShadow
130	BosaWave
131	DntWorry
132	I'm Pola
133	Mambo Jm
134	One Note
135	PasoCani
136	Beguine
137	Tijuana
138	Puntuali
139	Cielito
140	The Liar
141	Unfrgvin
エンターテイメント	
142	Raindrop
143	Califrag
144	CatMemry
145	MyPrince
146	Showbiz
147	JinglBel

MDB番号	MDB名
148	SilentNt
149	Christms
150	Favorite
151	RedRdolf
152	Moon Wlz
153	AroundWd
ワルツ&トラッド	
154	DadClock
155	RockBaby
156	SomeLara
157	Doodah!
158	Dreamer
159	Birthday
160	Sunshine
161	Tex Rose
162	ThePolka
163	Yankee's
164	DanubeWz
165	D'amor
166	Reine de
167	MnchHaus
168	Comrades
169	Van Maas
170	ClariPka

エフェクトタイプリスト

ハーモニータイプリスト

番号	タイプ	解説	
001	Duet (デュエット)	ハーモニータイプ001～005を鳴らしたいときは、スタイルオンの状態でスタイルを鳴らしながら、スプリットポイントより右側で弾くと、弾いた音に1～3音のハーモニーが加わります。コード情報を含んだソングを鳴らしているときは、どの鍵盤を弾いてもハーモニーがつかます。	
002	Trio (トリオ)		
003	Block (ブロック)		
004	Country (カントリー)		
005	Octave (オクターブ)		
006	Trill 1/4 (トリル1/4)		2つの鍵盤を押さえ続けると、それぞれの音が交互にくり返し鳴ります。(鳴るスピードは選んだタイプによって異なります)。
007	Trill 1/6 (トリル1/6)		
008	Trill 1/8 (トリル1/8)		
009	Trill 1/12 (トリル1/12)		
010	Trill 1/16 (トリル1/16)		
011	Trill 1/24 (トリル1/24)		
012	Trill 1/32 (トリル1/32)		鍵盤を押さえ続けると、押さえた音が連打されます。(連打のスピードは選んだタイプによって異なります)。
013	Tremolo 1/4 (トレモロ1/4)		
014	Tremolo 1/6 (トレモロ1/6)		
015	Tremolo 1/8 (トレモロ1/8)		
016	Tremolo 1/12 (トレモロ1/12)		
017	Tremolo 1/16 (トレモロ1/16)		
018	Tremolo 1/24 (トレモロ1/24)		
019	Tremolo 1/32 (トレモロ1/32)		鍵盤を押さえると、押さえた音にエコー (こだま) がかかります。(エコーがかかるスピードは選んだタイプによって異なります)。
020	Echo 1/4 (エコー 1/4)		
021	Echo 1/6 (エコー 1/6)		
022	Echo 1/8 (エコー 1/8)		
023	Echo 1/12 (エコー 1/12)		
024	Echo 1/16 (エコー 1/16)		
025	Echo 1/24 (エコー 1/24)		
026	Echo 1/32 (エコー 1/32)		

[アルペジオタイプリスト (027~176)]

番号	タイプ	番号	タイプ	番号	タイプ
027	UpOct	077	Salsa2	127	StrngUp
028	DownOct	078	Reggae1	128	OrcheStr
029	UpDwnOct	079	Reggae2	129	Jupiter
030	SynArp1	080	Reggae3	130	Pizz1
031	SynArp2	081	6/8R&B	131	Pizz2
032	SynArp3	082	Gospel	132	BrasSec1
033	SynArp4	083	BalladEP	133	BrasSec2
034	SyncEcho	084	Strum1	134	BrasSec3
035	PulsLine	085	Strum2	135	FunkBras
036	StepLine	086	Strum3	136	SoulReed
037	Random	087	Strum4	137	DiscoLd
038	Down&Up	088	Pickin1	138	SmoothPd
039	SuperArp	089	Pickin2	139	PercArp
040	AcidLine	090	Funky	140	Ethnic
041	TekEcho	091	GtrChrd1	141	Cresendo
042	VelGruv	092	GtrChrd2	142	DiscoCP
043	Planet	093	GtrChrd3	143	Perc1
044	Trance1	094	GtrArp	144	Perc2
045	Trance2	095	FngrPck1	145	R&B
046	Trance3	096	FngrPck2	146	Funk1
047	ChordAlt	097	CleanGtr	147	Funk2
048	SynChrd1	098	Slowfl	148	Funk3
049	SynChrd2	099	Samba1	149	Soul
050	Syncopa	100	Samba2	150	ClscHip
051	Hybrid1	101	Spanish1	151	Smooth
052	Hybrid2	102	Spanish2	152	NewGospl
053	Hybrid3	103	Harp1	153	CmbJazz1
054	Hybrid4	104	Harp2	154	CmbJazz2
055	Hybrid5	105	FngrBas1	155	Bebop
056	PfArp1	106	FngrBas2	156	JazzHop
057	PfArp2	107	FngrBas3	157	FolkRock
058	PfArp3	108	CoolFunk	158	Unpluggd
059	PfArp4	109	SlapBass	159	HipHop
060	PfClub1	110	AcidBas1	160	Trance
061	PfClub2	111	AcidBas2	161	Dream
062	PfBallad	112	FunkyBas	162	2 Step
063	PfChd8th	113	CmbJazB1	163	ClubHs1
064	EPArp	114	CmbJazB2	164	ClubHs2
065	PfShuffle	115	CmbJazB3	165	EuroTek
066	PfRock	116	NewR&Bs	166	House
067	Clavi1	117	HipHopBs	167	Ibiza1
068	Clavi2	118	SmoothBs	168	Ibiza2
069	RocknPf	119	DreamBas	169	Ibiza3
070	70RockPf	120	TranceBs	170	Garage
071	SlowlPf	121	LatinBas	171	Samba
072	SoulPf	122	Strings1	172	African
073	ChordUp	123	Strings2	173	Latin
074	ChdDance	124	Strings3	174	China
075	LatinRck	125	Strings4	175	Indian
076	Salsa1	126	StrngDwn	176	Arabic

[NOTE]

- 143~176番のアルペジオタイプを演奏するときは、以下の音色をメインボイスとして選択してください。
 - 143~173番：ドラムキット(楽器番号242~252)を選択してください。
 - 174番(China)：楽器番号253「スタンダードキット1+中国打楽器」を選択してください。
 - 175番(Indian)：楽器番号254「インドキット1」または、楽器番号255「インドキット2」を選択してください。
 - 176番(Arabic)：楽器番号259「アラビックキット」を選択してください。

[リバーブタイプリスト]

番号	タイプ	解説
01~04	Hall 1~4 (ホール1~4)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
05	Cathedral (カテドラル)	大聖堂の中で弾いたときのような豊かなリバーブ(残響)がかかります。パイプオルガン音色などに最適です。
06~08	Room 1~3 (ルーム1~3)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
09~10	Stage 1~2 (ステージ1~2)	ソロ楽器に適したリバーブ(残響)です。
11~12	Plate 1~2 (プレート1~2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブ(残響)です。
13	Off (オフ)	リバーブ(残響)エフェクトはかかりません。

[コーラスタイプリスト]

番号	タイプ	解説
1~3	Chorus 1~3 (コーラス1~3)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
4~5	Flanger 1~2 (フランジャー 1~2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
6	Off (オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。

[NOTE]

- ・スタイル/ソングによっては、上記リストにないタイプが設定されている場合があります。
- ・リバーブ/コーラスタイプは、ほかのスタイル/ソングを選ぶとリセットされます。

[DSPタイプリスト]

番号	タイプ	解説
01	Dual Rotary Speaker Bright Slow	ロータリースピーカーをシミュレートしたものです。
02	Dual Rotary Speaker Bright Fast	
03	Rotary Speaker Slow	
04	Rotary Speaker Fast	
05	Small Stereo Distortion	ギター音色用のステレオディストーションです。ディストーションの設定です。
06	Small Stereo Overdrive	ギター音色用のステレオディストーションです。オーバードライブの設定です。
07	Small Stereo Vintage Amp	ギター音色用のステレオディストーションです。ビンテージな設定です。
08	British Combo Classic	ブリティッシュコンボアンプのシミュレーションです。クラシカルな設定です。
09	British Combo Top Boost	ブリティッシュコンボアンプのシミュレーションです。TOP BOOSTを使用した設定です。
10	British Combo Heavy	ブリティッシュコンボアンプのシミュレーションです。ヘビーな設定です。
11	British Legend Blues	ブリティッシュスタックアンプのシミュレーションです。ブルース向けの設定です。
12	British Legend Heavy	ブリティッシュスタックアンプのシミュレーションです。ヘビーな設定です。
13	British Legend Clean	ブリティッシュスタックアンプのシミュレーションです。クリーンな設定です。
14	Stereo Amp Sim Crunch	ステレオタイプのアンプシミュレーターです。
15	Stereo Amp Sim Blues	
16	Chorus 1	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
17	Chorus 3	
18	Chorus 4	
19	Chorus 5	
20	Celeste 2	
21	Symphonic	セレステの変調をより多重化したものです。
22	Flanger1	ジェットサウンドを作り出す効果です。
23	Vintage Phaser Stereo	アナログフェーザーをシミュレートしたものです。ビンテージ感のある味わいのある音を演出できます。
24	Phaser	位相(フェーズ)を周期的に変化させ音にうねりを持たせます。
25	E-Piano Phaser	位相(フェーズ)を周期的に変化させ音にうねりを持たせます。エレクトリックピアノ用です。

番号	タイプ	解説
26	Auto Wah	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
27	Auto Wah + Distortion	オートワウの出力をディストーションにより歪ませることができます。
28	Clavi Touch Wah	クラビネットに適したタッチワウです。
29	Tremolo	音量を周期的に変化させるエフェクトです。
30	E-Piano Tremolo	
31	Guitar Tremolo	
32	Ensemble Detune	ピッチをわずかにずらした音を付加することによる、うねりのないコーラスエフェクトです。
33	Tempo Auto Pan	テンポ同期可能なオートパンです。
34	Echo	L、R、2本のディレイとL、R独立のフィードバックディレイを持っています。
35	Cross Delay	2本のディレイのフィードバックをクロスさせたエフェクトです。
36	Compressor Medium	若干のコンプレッサー感が得られます。
37	3Band EQ	LOW (ロー)、MID (ミドル)、HIGH (ハイ)のイコライジングが可能なモノラルイコライザーです。
38	Harmonic Enhancer	入力信号に新たな倍音を付加し音をきわだたせるエフェクトです。

仕様

品名			電子キーボード
サイズ/質量	寸法	幅×奥行×高さ	945 mm × 369 mm × 118 mm
	質量		4.6 kg (電池含まず)
操作子	鍵盤	鍵盤数	61
		タッチ感度	ソフト、ミディアム、ハード、フィックス
	ディスプレイ	タイプ	液晶
		バックライト	○
		言語	英語
パネル	言語	日本語	
音源/音色	音源	音源方式	AWMステレオサンプリング
	最大同時発音数		48
	プリセット	音色数	622 (241/パネル音色+22ドラム/SFXキット+20アルペジオ音色+339XGlite音色)
	対応フォーマット		GM/XGlite
効果	タイプ	DSP	38種類
		リバープ	12種類
		コーラス	5種類
		マスター-EQ	6種類
	ファンクション	デュアル	○
		スプリット	○
		サステイン	○
		ハーモニー	26種類
		アルペジオ	150種類
		メロディキャンセル	○
	アーティキュレーション	○ (11スーパーアーティキュレーションライト音色)	
伴奏スタイル	プリセット	スタイル数	205
		フィンガリング	スマートコード、マルチ
		スタイルコントロール	スタイルオン/オフ、シンクロスタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/rft、メイン/フィルイン
	外部スタイル		10
	その他特長	ミュージックデータベース	170
	ワンタッチセッティング(OTS)	○	
	対応フォーマット		スタイルファイルフォーマット (SFF)
録音/再生 (MIDIソング)	プリセット	内蔵曲数	154 (タッチスタディ10、コードスタディ12、コードプロGRESSION30含む)
		曲数	5
	録音	トラック数	2
		データ容量	約10,000音符
	フォーマット	再生	SMF (フォーマット 0、フォーマット 1)
	録音	オリジナルフォーマット	
ファンクション	レッスン		ソングマスター、レッスン1~3 (お手本、タイミング、マイベース)、フレーズ練習、A-B リビート、コード読書、タッチスタディ、コードスタディ、コードプロGRESSION
	USBオーディオ(USB TO HOST)		44.1 kHz、16 bit、ステレオ
	レジストレーションメモリー	ボタン数	9
	全体設定	メトロノーム	○
		テンポ	11~280
		トランスポーズ	-12~0~+12
		チューニング	427.0~440.0~453.0 Hz (約0.2 Hz単位)
		デュオ	○
その他	ピアノボタン	○	
メモリー / 接続端子	メモリー	内蔵メモリー	約1.4 MB
	接続端子	DC IN	12 V
		ヘッドホン/外部出力	ステレオ標準フォン端子(ヘッドホン/OUTPUT兼用)
		サステインペダル	○
		AUX IN	○ (ステレオミニ端子)
	USB TO HOST	○	
音響	アンプ出力		2.5 W + 2.5 W
	スピーカー		12 cm × 2
電源部	電源	電源アダプター	PA-3C (またはヤマハ推奨の同等品)
		電池	単3 (1.5 V) アルカリ乾電池/マンガン乾電池 × 6本 または単3 (1.2 V) ニッケル水素電池 (充電式) × 6本
	消費電力		7 W (PA-3C使用時)
	電池寿命		アルカリ乾電池で約11時間 充電電池で約10.5時間
	オートパワーオフ		○ (時間設定可能)
付属品	取扱説明書(本書)、電源アダプター (PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品)、ソングブック、譜面立て、製品登録のご案内		
別売品	電源アダプター (PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品)、ソフトケース(SCC-51/SCC-52)、キーボードスタンド(L-2L/L-2C)、ヘッドホン(HPH-50/HPH-100/HPH-150)、フットスイッチ(FC4A/FC5)		

*本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

A	音量(USB TO HOST).....54	ストレージモード.....55
A-Bリポート.....33	音量(スタイル).....53	スプリットボイス.....17
ACMP.....24	音量(スプリットボイス).....53	スプリットポイント.....17, 24, 52, 54
AUX IN.....48	音量(ソング).....53	スマートコード.....23
B	音量(デュアルボイス).....52	スマートデバイス.....50
BGM.....32	音量(ハーモニー).....53	スマートデバイス接続マニュアル.....2
D	音量(メインボイス).....52	セ
DSP.....18	音量(メトロノーム).....53	セクション.....25
DSPタイプリスト.....72	カ	ソ
G	ガイド音.....39	ソング.....31
GMシステムレベル1.....2	外部機器.....48	ソングカテゴリ.....31
I	外部クロック.....54	ソングブック.....2, 35
iPad.....50	楽器音.....16	ソングマスター.....35
iPhone.....50	楽器リスト.....58	ソングリスト.....65
M	画面表示.....15	タ
MIDI入門.....2	乾電池→電池.....12	タイミング.....38
MIDIリファレンス.....2	キ	タッチスタディ.....40
R	キー(調)→トランスポーズ.....52	タッチレスボンス.....18
rit.....25	機能設定.....52	タップ機能.....30
S	機能リスト.....52	チ
S.Art Lite.....19	強弱メーター.....18	チューニング.....52
S.Art Liteボイス.....19	ク	テ
U	グランドピアノ.....16	デモ.....31, 55
USB TO HOST.....50	ケ	デュアルボイス.....17, 52
USBオーディオ.....50	鍵盤表示.....15	デュオ.....22, 54
X	コ	電源.....12
XGライト.....2	コード.....15, 26	電源アダプター.....12
ア	コード辞書.....28	電池.....12
アーティキュレーション.....19	コードスタディ.....41	電池の種類.....12, 55
アルペジオ.....20	コードプログレッション.....42	テンポ.....16, 30, 31
アルペジオタイプ.....71	コーラス.....19	ト
アルペジオペロシティー.....53	コーラスタイプ.....72	トラック.....43
イ	合格結果.....36	ドラムキットリスト.....2
一時停止.....32	困ったときは.....56	トランスポーズ.....52
移調→トランスポーズ.....52	コンピューター.....50	ハ
イニシャルセンド.....54	コンピューターとつなぐ.....2	パート.....33
イントロ.....25	サ	ハーモニー.....20
エ	採点.....38	ハーモニータイプ.....70
エフェクト.....18	サステイン.....14, 19	バックアップクリア.....51
エフェクトタイプリスト.....70	シ	バックアップデータ.....51
エンディング.....25	自動伴奏.....23	バッテリー.....55
オ	自動伴奏領域.....24	早送り.....32
オーディオ.....48	仕様.....74	早戻し.....32
オートパワーオフ.....13	消去(バックアップ).....51	ヒ
お手本.....38	消去(ユーザーソング).....44	ビート.....15
音の高さ→トランスポーズ、 チューニング.....52	小節.....15	拍子.....16
音量.....13	初期化.....51	フ
音量(AUX IN).....54	シンクロスタート.....24	フィルイン.....25
音量(USB TO HOST).....54	ス	フィンガリングタイプ.....23
音量(スタイル).....53	スタイル.....23	フットスイッチ.....14, 19, 21
音量(スプリットボイス).....53	スタイル オン/オフ.....24	譜面立て.....14
音量(ソング).....53	スタイルファイル.....2, 29	フラッシュクリア.....51
音量(デュアルボイス).....52	スタイルリスト.....66	フレーズ練習.....37
音量(ハーモニー).....53	スタンダードキット1リスト.....64	
音量(メインボイス).....52		
音量(メトロノーム).....53		

へ	
ペダル.....	14, 19, 21
ヘッドホン.....	14
別売品.....	74
ホ	
ボイス.....	16
マ	
マイペース.....	38
マスターEQ.....	47
マルチ.....	23
ミ	
ミュージックデータベース.....	29
ミュージックデータベースリスト.....	68
メ	
メイン.....	25
メインボイス.....	16
メトロノーム.....	16
メロディーキャンセル.....	49
ユ	
ユーザーソング.....	43
ユアテンポ.....	38
ラ	
ランダム再生.....	32
リ	
リズム.....	24
リバーブ.....	19
リバーブタイプ.....	53, 72
リバーブレベル.....	53
レ	
レジストフリーズ.....	46
レジストレーションメモリー.....	45
レッシン.....	34
連続再生.....	32
ロ	
ローカルコントロール.....	54
録音.....	43
録音(トラック).....	44
ワ	
ワンタッチセッティング.....	16

MEMO

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。
「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類（領収書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

●補修性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830 へおかけください。

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125

西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

◆修理品お持込み窓口

受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011

大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻ビル7F

FAX 06-6649-9340

※名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

◆ 本製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-006-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-5272 へおかけください。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<https://jp.yamaha.com/support/>

◆ ウェブサイトのご案内

- | | |
|----------------------|---|
| ・ヤマハ株式会社のホームページ | https://jp.yamaha.com/ |
| ・ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト | https://jp.yamaha.com/kbd/ |
| ・ヤマハ サポート・お問い合わせ | https://jp.yamaha.com/support/ |
| ・ヤマハミュージックデータショップ | https://yamahamusicdata.jp/ |

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

※ 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



[持込修理用]

ヤマハ 電子キーボード保証書

MODEL PSR-E373

この度はヤマハ 電子キーボードをお買い上げいただきましてありがとうございました。
本書は下記の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買い上げの日から右記期間中に万一故障が発生した場合は製品に本書を添えて
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご住所 □□□□-□□□□
電話 — —
お名前 殿

* この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、
本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用いたします。

修理で相談センター



0570-012-808

※12ヶ月間。※一取電話。公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

※上記番号でつながない場合は 053-460-4830 へおかけください。
受付時間: 月～金 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定休日を除く)

製造番号		
お買い上げ日	年	月 日
保証期間	本体 電源アダプター	お買い上げの日から一年間
販売店名		
(所在地)		
(電話)	(扱者名)	

株式会社ヤマハミュージックジャパン

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

保証規定

保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、無料修理致します。

●保証書のご使用法

○保証期間内に万一本製品が故障した場合には、お買い上げの販売店
にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。

●保証期間中でも次の場合は有料となります。

- 納品後、輸送・移動時のお取扱いが適当でないために生じた故障・
損害の場合。
- 取扱説明書に記載の注意事項に反するお取り扱いによって発生した故
障の場合。
- 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- 塗装面及び金属面が経年変化により退色、変色した場合。
- 弊社関係のサービスマン以外の方が修理・改造された部分で、
その修理改造が不適當であった場合。
- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災及び公害や電圧異常による
故障、損傷の場合。
- 鼠害、塩害等による故障、損傷の場合。
- 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
あるいは字句を書替えられた場合。
- 本書のない場合。又、ご提示のない場合。
- お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

●転居の場合等

- 転居、ご贈答品等で、本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理
をご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センターにご相談くださ
い。
- 離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合には、出
張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合に於て
も、残存期間は保証致します。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only within Japan.)
- 保証期間の1年が過ぎましても、サービスは有料にて責任を持って実
施させていただきます。
- 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約
束するものです。
従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません
ので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げ
の販売店もしくはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

Manual Development Group
© 2020 Yamaha Corporation

2021年10月発行 POTY-C0

VDH1550